

令和3年4月21日

山形市議会
議長 齋藤武弘 様

山形市議会議員

遠藤吉久



令和2年度政務活動費収支報告について

山形市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、
別紙のとおり令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。

山形市

-3.4.21

議会事務局

令和2年度政務活動費収支報告書

議員名 遠藤吉久



1 収入 政務活動費 600,000 円

2 支出 629,576 円

(単位;円)

科 目	金 額	備 考
研究研修費	0	
調査旅費	0	
広報広聴費	629,576	市政報告書作成費、同送付費用
要請・陳情活動費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
人件費	0	
事務所費	0	
通信・交通費	0	
合 計	629,576	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 2年 4月 15日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	7	3,	0	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容

市政報告書ふれあいNo.123 3,000部印刷代 73,000円
 二ツ折 1,000部 × @23 (税込み) = 23,000円
 三ツ折 2,000部 × @25 (税込み) = 50,000円
 合計 73,000円

領収証

NO. 2022年4月15日

合計金額 ¥ 73,000-

内消費税額 ¥ 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

但しふれあい123号フルカラー3,000部印刷

入金内訳
 現金 0
 小切手
 相殺

大仁堂印刷所
 合資会社 大仁堂印刷所
 〒990-0047 山形市旅籠町2-1-33
 Tel (023) 644-2482

ふれあひ

第 **123** 号
2020 (令和2) 年
3 月定例市議会
報 告 号

【発行責任者】 山形市旅籠町 2-3-25 山形市議会内 【市民連合山形市議団】 TEL 641-1212 内線 721

健康・経済対策を万全なものに！

新型コロナウイルスに一丸となって！



山形市議会議員 えんどう 吉久

穏やかに明けたオリ・パラリンピックイヤー。本来、国際色豊かな、明るい希望に満ちた年になるべきところ、新型コロナウイルスによる様々な影響を受けるとは、誰しもが思いもよらなかったことでした。ウイルス罹患は国内、国際的にも広がっており、予断を許しません。

市民の皆様方の健康、生活維持、様々な影響による経済対策、子どもたちの居場所、安全、安心対策など多岐にわたるものとなりました。

引き続き、市民の皆様方のご要望、ご意見について随時反映をして参ります。

判所の移転、市街地都市計画道路の完成供用に伴う街づくり、都市計画マスタープランの具体化の手立て、連携中枢都市圏の位置づけ、指定管理者制度の現状、そして高齢化社会に対応した除排雪体制の構築、法定外公共物の管理など、魅力的な山形市づくりに向けた内容について、市長の施政方針を質してきました。

には旅籠町八日町線の部分供用も間近です。新たな県都、街づくりが急がれます。

ワクチンの開発とともに、一日も早い終息（収束）を願うばかりです。

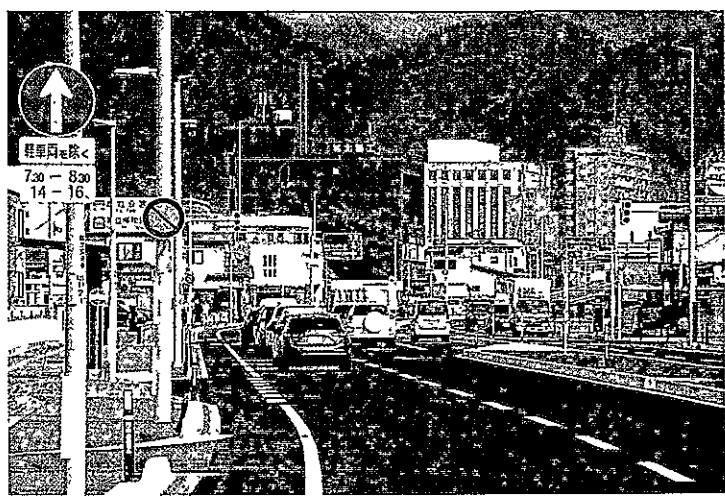
コロナウイルスに 関する緊急提言

三月六日、佐藤市長に緊急提言を行いました。

市政一般にかかる 質問を実施

三月四日、一般質問を行いました。

コロナウイルス、老舗百貨店の閉店による経済対策、中心市街地活性化の戦略の見直し、済生館の建替、新市民会館の経過、裁



▲ 完成した 112 号霞城改良

新年度予算総額1,889億円(一般会計953億円)を可決!!

新発展計画、連携中枢ビジョンを決定!

新型コロナウイルスによる健康・経済対策で激論!

新型コロナウイルス感染症の蔓延と経済への計り知れない影響が懸念されるなか、新年度当初予算総額一、八八九億円(一般会計九五三億円、八特別会計五二二億円、三企業会計四二四億円)をはじめ、健康先進医療都市を具現化していく山形市基本構想の改訂、新発展計画二〇二五、山形連携中枢都市圏ビジョン、山形市国土強靱化計画、山形市災害廃棄物処理計画、山形市洪水ハザードマップ(洪水避難地図)の改訂、市道路線の認定、山形市市営住宅条例の一部改正、補正予算などの議案を審査、質疑した三月定例議会は、二月二七日から三月二四日までの二七日間開会され、いずれも原案のとおり可決、決定するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する国などへの意見書提出などを採択、教育委員に白鳥樹一郎氏の再任に同意し閉会しました。

また、この間市民連合山形市議団として山形市長に新型コロナウイルス感染症に関する緊急申入れを行い、回答を得るとともにその健康・経済などへの対策を国、県との連携の基に講ずるよう行って参りました。以下、主な内容についてご報告いたします。

「新型コロナウイルス」

関連に係る緊急提言を実施!

市民連合山形市議団(佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛)は三月六日、佐藤市長に「新型コロナウイルス」

緊急提言を行いました。

提言は、一、検査体制の充実強化/二、健康維持・生活物資の確保/三、子どもの実態把握、安全確保と居場所づくり関係/四、経

済対策/五、妊婦・乳児対策/六、その他、の六分野一五項目にわたっています。

市長からは同一九日付けで回答があり、国、県をはじめ関係機関と連携し、市民の皆さんの健康維持、生活確保、イベント・各種事業の中止、延期による飲食業、ホテル、運輸、旅行業

などへの経済対策、雇用の確保について全力を尽くしていくとしました。

オリ・パラリ



▲ 三月六日、市長に緊急提言

オリ・パラリ
ンピックが延期になるなど、終息が未だ不明ですが市民の皆さんの健康と生活の維持・確保について

引き続き、提言、意見具申をして参ります。

下水処理事業を広域処理化へ

上水道は検討を模索

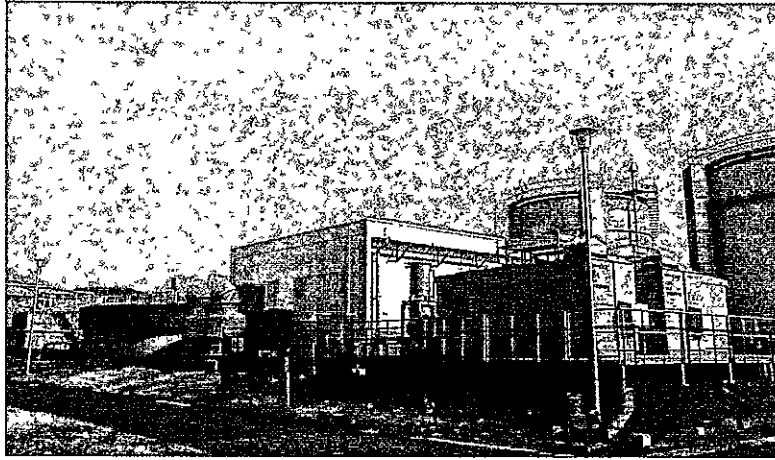
環境・建設委員会

今後五〇年間で一六二億円の節減

市内の汚水処理は、市街地域については田端の山形市浄化センター(処理量約三九、〇〇〇立方メートル/日)、その他

和一六年に中枢機器を備える管理棟が法定耐用年数(五〇年)を迎えます。試算したところ、現在の

形市浄化センターについて、昭和四〇年から長寿命化を図りながら稼働してきましたが、いよいよ大規模更新期を迎え、当面令



▲大規模更新が予定される浄化センター

処理形式を採用し施設の更新を今後五〇年間で行う場合の必要経費は五七二億円、天童市のセンターを増設、更新し全てを処理する場合は四一〇億円と一六二億円の経費が節減される見込みとなりました。

このことから、広域化に向けた処理方式について、県と協議をしていくこととしたものです。

一方、上水道については、見崎浄水場が一〇年後に更新期を迎え、一気に原価償却費が増えます。給水人口の減と併せると一立方メートル当たりの給水原価が二倍近くになります。

このことから、広域化に向けて他の一四事業者との検討を模索していくことになりました。

北山形駅周辺バリアフリー構想

整備目標年次 令和六年度

総務委員会

JR北山形駅周辺をバリアフリーにする構想が示されました。

現在、JR北山形駅のホームは跨線橋で結ばれていますが、階段式となっております。その他周辺地域でもバリアフリー環境に対応した信

号機の設置や、視覚障がい者用誘導ブロックを設置することなどが、高齢者や障がい者が日常生活をするうえでの課題となっております。

これらを改善するため、バリアフリー法にもとづきJ.R北山形駅周辺一六ヘクタールを重点整備地区と設



▲バリアフリー化が予定される北山形駅周辺

定し地区内の移動円滑化にむけた事業を行うことが明らかになりました。

このことにより、北山形駅へのエレベーター、転落防止のための点字ブロック、多機能トイレは令和六年度までに終了、その他道路への点字ブロック設置、信号機の改善、駅前広場の環境整備、宮町公園内への園路の設置なども協議のうえ順次実施していくこととなります。

小・中学校にタブレット

求められる効果検証・健康の配慮

産業文教委員会

小・中学校へのタブレット端末（4、104台）導入及び無線LAN整備工事が行われます。

生徒一人一台の端末を使用することで、より幅が広く、深い学習ができ、理解力や学習の到達度に合わせた課題を設定することが可能となります。

負担が予想される小学校

の教員に対しては、ICT（情報通信技術）支援員を9名増員しソフト面での充実を図りさらに、授業支援、授業実践事例の提供やプログラミング教育の実践を支援してもらうことで、教員の負担を減らしたい。

また、新しい教科書には二次元コードが掲載されることから、動画や学習内容

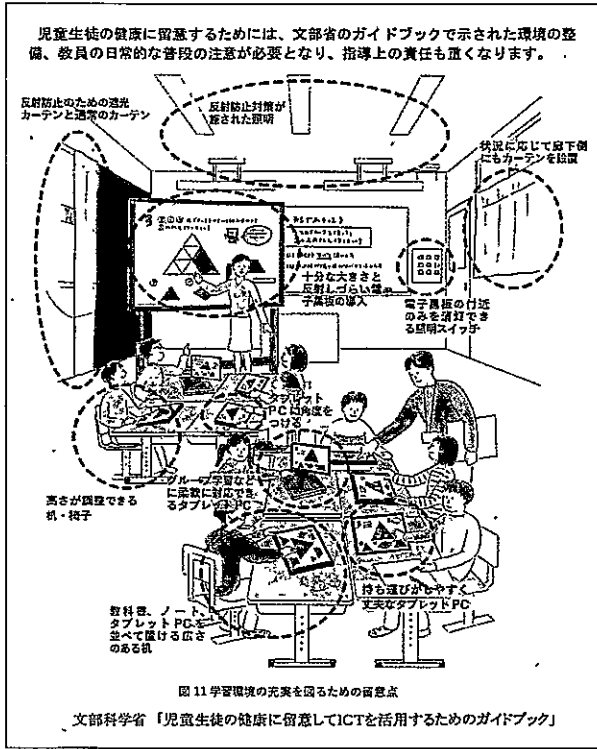


図 11 学習環境の充実を図るための留意点

文部科学省「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」

「猫の不妊・去勢手術補助」開始!!

厚生委員会

新年度から、猫の不妊・去勢手術に補助制度が始まります。対象は、野良猫（地域猫）や、多頭飼育で近所に迷惑がかかっている猫になります。補助額は手術費の1/3、雌8,000円、雄5,000円になります。個人、町内会による事前の申請を行い、交付決定後に手術を実施し、その後費用の領収証を添付した報告書を提出することにより補助金が交付されます。それぞれ、100頭ずつを見込んでいます。手術をした猫は、図のように片耳の先をカットするため、一目で「手術済」であることが分かるようになります。

また、動物愛護センターの獣医師を「動物愛護管理担当職員」として、2名から3名に増員し、苦情や相談に対応していくことになりました。

耳カットの方法



- 切り口のイメージ（参考）
- ・耳先をV字
 - ・先端から1cm
 - ・角度は~90度
 - ・雄：右 雌：左

を詳しく説明した資料などを見ることができることから、教材準備・研究の助成となり、効率的に授業を進められるなど、多忙化の解消に資する面もあると考えている。

また、健康面では国が作成した「児童生徒の健康に

留意してICTを活用するためのガイドブック」を活用し、目や身体への影響が生じないよう、正しい姿勢や画面への映り込みの防止などに配慮した端末の使用を指導していくとの答弁がありました。

学校のICT化は、日本

の学校教育における「大変革」をもたらすものであり、子どもの教育・本来の学力の育成につながるのか、子どもの心身の健康を守ることもできるのか、細心の点検や、配慮が求められています。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和2年 4月 22日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥ 1	7	3,	5	7	6	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	東京都千代田区霞ヶ関1-3-2 日本郵便株式会社 流通センター内郵便局 扱						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								
支出内容									
市政報告書郵送代 市政報告書NO.52 及び ふれあいNO.123 区内特別 @73 × 1,784 通 = 130,232 円 通常 @84 × 516 通 = 43,344 円 <p style="text-align: right;">合計 173,576 円</p>									
【領収書添付】○重ならないよう添付してください。 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。									

領収書貼付用紙

領収書

遠藤 吉久 様

[別納引受] 区内特別基 (定) @73	1,784通	¥130,232
小計		¥130,232

郵便物引受合計通数	1,784通
課税計 (10%)	¥130,232
(内消費税等)	¥11,839
非課税計	¥0

合計	¥130,232
お預り金額	¥130,232

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年4月22日 15:22
担当：[REDACTED]
発行No. 200422A2015 端N70箱01
連絡先：山形流通センター内郵便局
TEL:023-641-9364

領収書

遠藤 吉久 様

[別納引受] 第一種定形 @84	516通	¥43,344
小計		¥43,344

郵便物引受合計通数	516通
課税計 (10%)	¥43,344
(内消費税等)	¥3,940
非課税計	¥0

合計	¥43,344
お預り金額	¥43,344



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年4月22日 15:29
担当：[REDACTED]
発行No. 200422A2018 端N70箱01
連絡先：山形流通センター内郵便局
TEL:023-641-9364

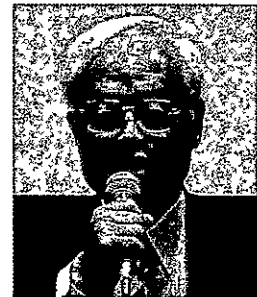
※ 重ならないように貼付してください。

※ できるだけ枠の中に貼付し、裏には貼らないでください。

健康・経済対策を万全なものに！

新型コロナウイルスに一丸となって！

山形市議会議員 えんどう 吉久



穏やかに明けたオリ・パラリンピックイヤー。本来、国際色豊かな、明るい希望に満ちた年になるべきところ、新型コロナウイルスによる様々な影響を受けるとは、誰しもが思いもよらなかったことでした。ウイルス罹患は国内、国際的にも広がっており、予断を許しません。

ワクチンの開発とともに、一日も早い終息（収束）を願うばかりです。

「コロナウイルスに

関する緊急提言

三月六日、佐藤市長に緊急提言を行いました。

市民の皆様方の健康、生活維持、様々な影響による経済対策、子どもたちの居場所、安全、安心対策など多岐にわたるものとなりました。引き続き、市民の皆様方のご要望、ご意見について随時反映をして参ります。

市政一般にかかる

質問を実施

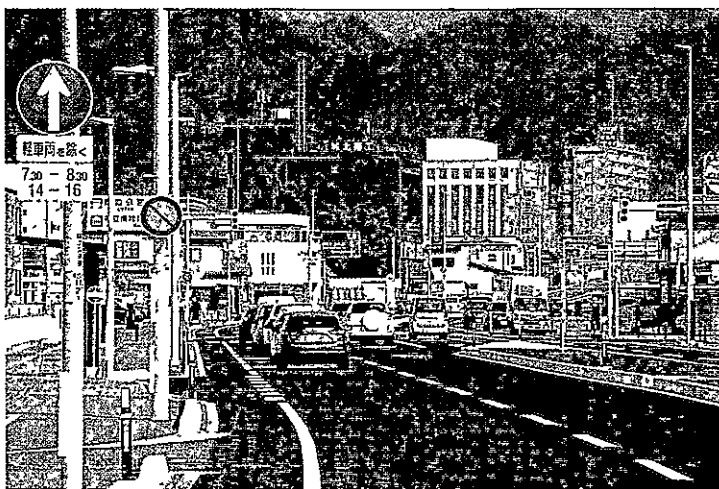
三月四日、一般質問を行いました。

コロナウイルス、老舗百貨店の閉店による経済対策、中心市街地活性化の戦略の見直し、済生館の建替、新市民会館の経過、裁

判所の移転、市街地都市計画道路の完成供用に伴う街づくり、都市計画マスタープランの具体化の手立て、連携中枢都市圏の位置づけ、指定管理者制度の現状、そして高齢化社会に対応した除排雪体制の構築、法定外公共物の管理など、魅力的な山形市づくりに向けた内容について、市長の施政方針を質してきました。

には旅籠町八日町線の部分供用も間近です。新たな県都、街づくりが急がれます。

国道一一二号霞城改良の完成、供用、さら



▲ 完成した 112 号霞城改良

新年度予算総額1,889億円(一般会計953億円)を可決!!

新発展計画、連携中枢ビジョンを決定!

新型コロナウイルスによる健康・経済対策で激論!

新型コロナウイルス感染症の蔓延と経済への計り知れない影響が懸念されるなか、新年度当初予算総額一、八八九億円(一般会計九五三億円、八特別会計五二二億円、三企業会計四二四億円)をはじめ、健康先進医療都市を具現化していく山形市基本構想の改訂、新発展計画二〇二五、山形連携中枢都市圏ビジョン、山形市国土強靱化計画、山形市災害廃棄物処理計画、山形市洪水ハザードマップ(洪水避難地図)の改訂、市道路線の認定、山形市市営住宅条例の一部改正、補正予算などの議案を審査、質疑した三月定例議会は、二月二七日から三月二四日までの二七日間開会され、いずれも原案のとおり可決、決定するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する国などへの意見書提出などを採択、教育委員に白鳥樹一郎氏の再任に同意し閉会しました。

また、この間市民連合山形市議団として山形市長に新型コロナウイルス感染症に関する緊急申入れを行い、回答を得るとともにその健康・経済などへの対策を国、県との連携の基に講ずるよう行って参りました。以下、主な内容についてご報告いたします。

「新型コロナウイルス」

関連に係る緊急提言を実施!

市民連合山形市議団(佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛)は三月六日、佐藤市長に「新型コロナウイルス関連に係る緊急提言」を行いました。

市長からは同一九日付けで回答があり、国、県をはじめ関係機関と連携し、市民の皆さんの健康維持、生活確保、イベント・各種事業の中止、延期による飲食業、ホテル、運輸、旅行業

などへの経済対策、雇用確保、策、雇用確保について全力を尽くしていくとしました。

提言は、一、検査体制の充実強化/二、健康維持・生活物資の確保/三、子どもの実態把握、安全確保と居場所づくり関係/四、経

業、ホテル、運輸、旅行業

オリ・パラリニックが延期になるなど、終息が未だ不明です



▲ 三月六日、市長に緊急提言

すが市民の皆さんの健康と生活の維持・確保について引き続き、提言、意見具申をして参ります。

下水処理事業を広域処理化へ

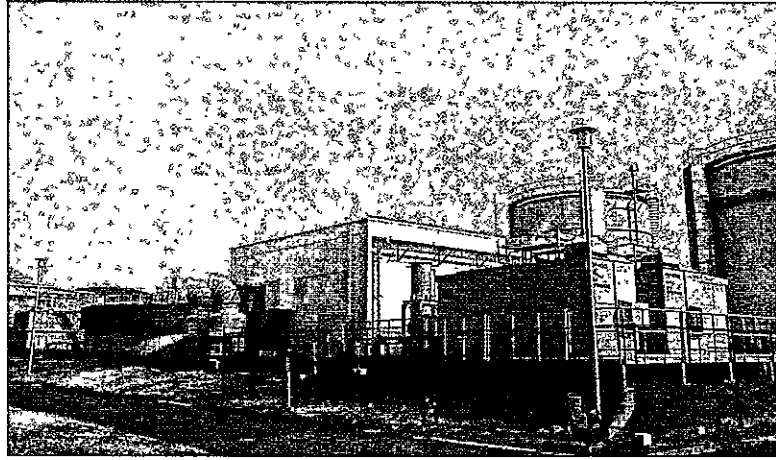
上水道は検討を模索

環境・建設委員会

今後五〇年間で一六二億円の節減

市内の汚水処理は、市街地域については田端の山形市浄化センター(処理量約三九、〇〇〇立方メートル/日)、その他の

の地域については天童市にある最上川流域下水道山形浄化センター(同四六、五〇〇立方メートル/日)と なっています。



▲ 大規模更新が予定される浄化センター

処理形式を採用し施設の更新を今後五〇年間で行う場合の必要経費は五七二億円、天童市のセンターを増設、更新し全てを処理する場合は四一〇億円と一六二億円の経費が節減される見込みとなりました。

このことから、広域化に向けた処理方式について、県と協議をしていくこととしたものです。

一方、上水道については、見崎浄水場が一〇年後に更新を迎え、一気に原価償却費が増えます。給水人口の減と併せると一立方メートル当たりの給水原価が二倍近くになります。

このことから、広域化に向けて他の一四事業者との検討を模索していくことになりました。

北山形駅周辺バリアフリー構想

整備目標年次 令和六年度

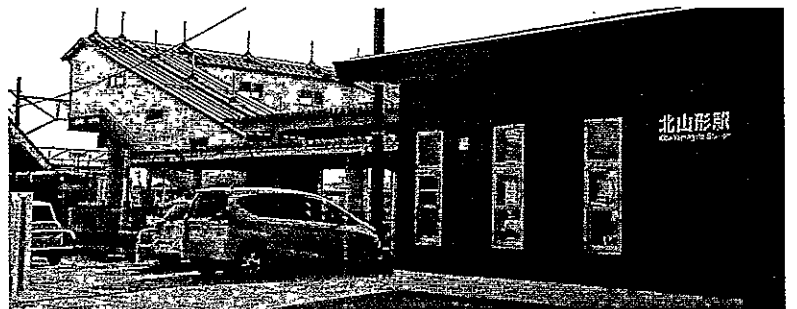
総務委員会

JR北山形駅周辺をバリアフリーにする構想が示されました。

現在、JR北山形駅のホームは跨線橋で結ばれていますが、階段式となっております。その他周辺地域でもバリアフリー環境に対応した信

号機の設置や、視覚障がい者用誘導ブロックを設置することなどが、高齢者や障がい者が日常生活をするうえでの課題となっております。

これらを改善するため、バリアフリー法にもとづきJR北山形駅周辺一六ヘクタールを重点整備地区と設



▲ バリアフリー化が予定される北山形駅周辺

定し地区内の移動円滑化にむけた事業を行うことが明らかになりました。

このことにより、北山形駅へのエレベーター、転落防止のための点字ブロック、多機能トイレは令和六年度までに終了、その他道路への点字ブロック設置、信号機の改善、駅前広場の環境整備、宮町公園内への園路の設置なども協議のうえ順次実施していくこととなります。

小・中学校にタブレット

求められる効果検証・健康の配慮

産業文教委員会

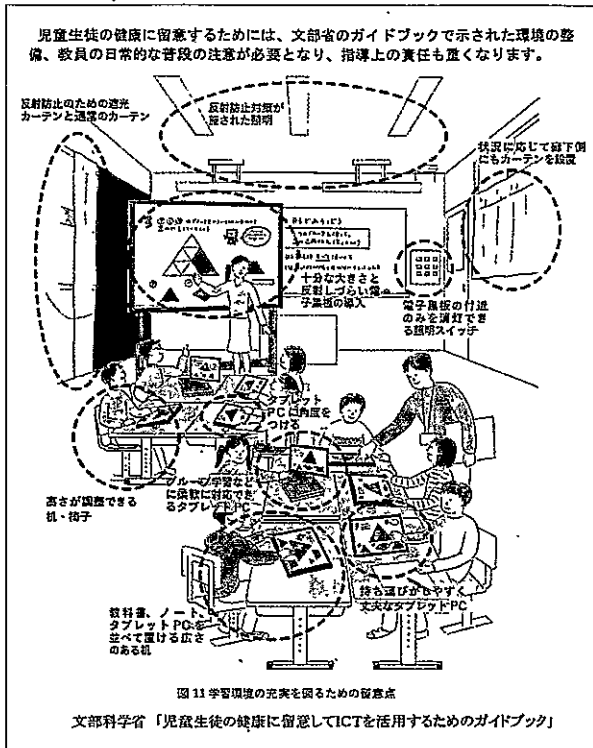
小・中学校へのタブレット端末（4、104台）導入及び無線LAN整備工事が行われます。

生徒一人一台の端末を使用することで、より幅が広く、深い学習ができ、理解力や学習の到達度に合わせた課題を設定することが可能となります。

負担が予想される小学校

の教員に対しては、ICT（情報通信技術）支援員を9名増員しソフト面での充実を図りさらに、授業支援、授業実践事例の提供やプログラミング教育の実践を支援してもらおうことで、教員の負担を減らしたい。

また、新しい教科書には二次元コードが掲載されることから、動画や学習内容



を詳しく説明した資料などを見ることのできることから、教材準備・研究の一手となり、効率的に授業を進められるなど、多忙化の解消に資する面もあると考えている。

また、健康面では国が作成した「児童生徒の健康に

留意してICTを活用するためのガイドブック」を活用し、目や身体への影響が生じないよう、正しい姿勢や画面への映り込みの防止などに配慮した端末の使用を指導していくとの答弁がありました。

学校のICT化は、日本

の学校教育における「大変革」をもたらすものであり、子どもの教育・本来の学力の育成につながるのか、子どもの心身の健康を守る事ができるのか、細心の点検や、配慮が求められていきます。

「猫の不妊・去勢手術補助」開始!!

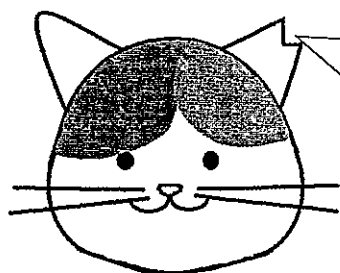
厚生委員会

新年度から、猫の不妊・去勢手術に補助制度が始まります。対象は、野良猫（地域猫）や、多頭飼育で近所に迷惑がかかっている猫になります。補助額は手術費の1/3、雌8,000円、雄5,000円になります。

個人、町内会による事前の申請を行い、交付決定後に手術を実施し、その後費用の領収証を添付した報告書を提出することにより補助金が交付されます。それぞれ、100頭ずつを見込んでいます。手術をした猫は、図のように片耳の先をカットするため、一目で「手術済」であることが分かるようになります。

また、動物愛護センターの獣医師を「動物愛護管理担当職員」として、2名から3名に増員し、苦情や相談に対応していくことになりました。

耳カットの方法



切り口のイメージ(参考)
・耳先をV字
・先端から1cm
・角度は~90度
・雄:右 雌:左

えんどう 吉久 市政報告

発行責任者 遠藤吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

H P <http://www.endo-yoshihisa.jp> E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp

コロナウイルスと 影響に立ち向かう!!



オ リ・パラリンピック開催年で、本来は国際色豊かな明るい希望の年になるべきところ、未だに終息（収束）が見えない新型コロナウイルスによって、健康はもとより経済、日常生活にも支障を来す状況となっています。

一刻も一日も早い治療薬、ワクチンの開発がなされ、終息（収束）することを願うばかりです。

このような状況の中、3月6日同僚議員とともに市民の皆様方の健康と日常生活を守るため、その切実な要望、希望について「緊急提言」を行ってきました。

市 長からは、同19日に回答があり、国、県及び関係機関と連携を図り、対応、対処していくこととしました。

提言事項は次のとおりです。

1. PCR検査体制の充実、強化
2. 健康維持・生活物資の確保について（マスク、消



霞城セントラル4階の対策本部

- 毒液、トイレトペーパー、紙おむつなどの不足解消策)
3. 子どもの実態把握、安全確保と居場所づくり関係など
(学校休業に伴う在家庭の児童への対応など)
4. 経済に対する景況対策について
(深刻な経済停滞に対する対策)
5. 妊婦・乳児対策について
(情報が少ないための不安解消)
6. その他
 - (1) 住民税申告期限延長に伴う不利益解消策について
 - (2) 新学期の開始についての十分な説明と理解について

こ のほか、新年度予算、補正予算、山形市基本構想の改訂、新発展計画2025、連携都市ビジョン、山形市国土強靱化地域計画、山形市災害廃棄物処理計画、北山形駅周辺地区バリアフリー基本構想、事件決議などについて、審議、審査するとともに、現下の経済状況の認識と改善策、魅力的な山形市づくり策などについて、一般質問を行ってきました。以下に主な内容をご報告いたします。

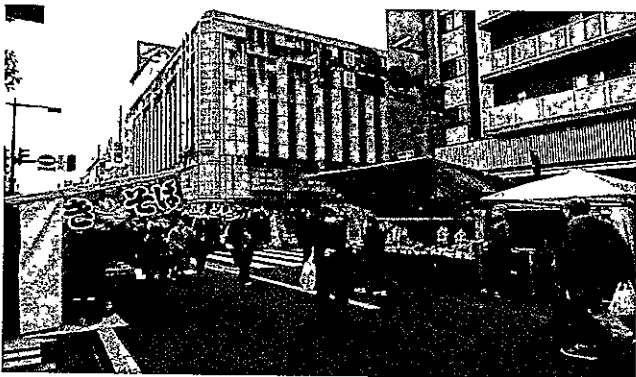
高齢化社会に対応した 魅力的な山形市の創造を!!

3月4日実施の一般質問詳報!

現下の経済状況の認識と
その対策について

問 暖冬、大沼デパート閉店、新型コロナウイルス感染症による、観光、飲食業、運輸業などへの影響をどのように認識し、対策を講じるのか。

答 経済状況は大変厳しいものと認識している。暖冬などが内外経済に与える影響や景気動向を注視するとともに、事業者や関係団体の意見を聞きながら、地域経済の活性化と市民生活の安定に向け、きめ細やかな対応をしていく。



雪のない初市。この後、経済は大変に。

魅力ある山形市づくりに向け、
懸案事項の解決策について

問 例年、降積雪の厳しい期間（概ね1月20日から2月20日の1ヶ月間）、

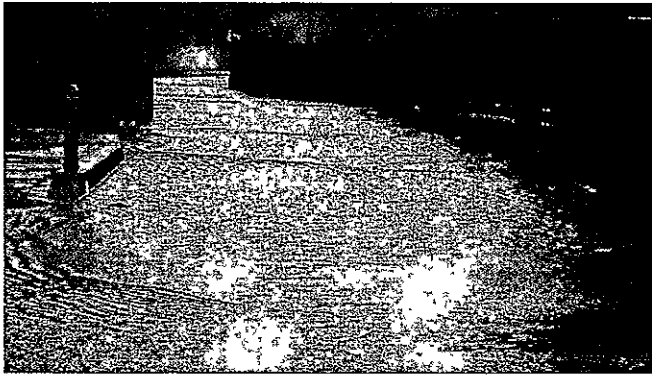
徹底的な除排雪体制を構築すべきと考えるがどうか。高齢化社会を迎え、排雪も出来ない家庭が毎年々多くなっている。

答 舗装道路で、除雪機械が入れる道幅があり、転回が可能であれば、市で除排雪作業している。除排雪路線以外の生活道路などは、町内会などで市の報奨金制度を活用して対応をしている。パトロールを強化し、道路状況に応じた除排雪事業を実施するなど、安全な道路環境の確保に努める。

問 地域の除排雪については自助、共助、公助のバランスが重要であり、除排雪ボランティア活動を行政としても広く呼びかけてはどうか。また、ボランティア休暇の趣旨を広め、啓蒙を図ってはどうか。

答 地域包括支援センター担当圏域ごとの生活支援コーディネーターが除雪支援の必要な方とボランティアのマッチングをしている。また、ボランティア休暇は、社会貢献だけではなく、企業イメージの向上や人材育成などのメリットがあるため、労働局や県と連携しながら制度の周知に努めていく。

問 法定外公共物の用悪水路、小河川は、所有権の移転や付け替えが難しい状況にある。近年のゲリラ豪雨によりこれから雨水があふれるなどの被害をぼうしするための管理について、どう考えるか。



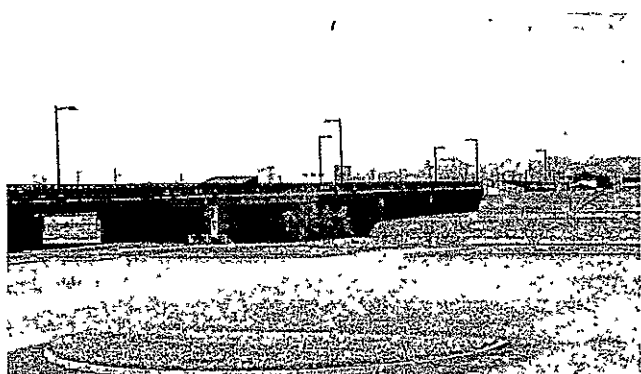
ゲリラ豪雨による、溢水、冠水被害が頻発

答 用水路など水利権があるものは、水利権者である土地改良区や水利組合などが管理者となる。水利権が放棄された生活排水路などは、地元町内会などから協力を頂きながら市が管理している。ゲリラ豪雨による水上がりなどの非常時には、各管理者と連携しながら対応している。

問 農業振興地域の白地の規制緩和により各地で住宅が建築されているが、農用地、白地の混在している地域のまちづくりをどう考えるか。

答 土地の有効活用に向け、市の権限でできる範囲については、集落のあり方などの検討をすすめるとともに、国や県の新たな制度の動きを注視しながら、よりよい住環境の整備に努めていく。

問 都市計画マスタープラン・地域別構想の具体化のため、都市計画道路の早期建設が不可欠と考える。都市計画決定に向けた取り組みを強力に推進すべきではないか。

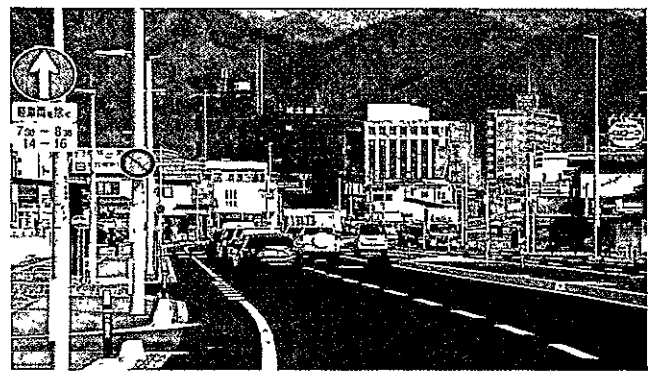


重要路線・改良が期待される千歳橋

折しも国道112号線霞城改良が3月22日に完成、供用開始になり、市街地と周辺を結ぶべきときである。



交通のネック スポーツセンター前



供用になった国道112号線霞城改良

答 新規事業化の必要性が特に高い路線を重要要望事業箇所として選定し、早期事業化と都市計画決定手続きを県と協議・調整を行う。

指定管理者制度の機能発揮について

問 制度が創設され18年目だが、制度のメリットが十分に市民に還元されているか。また、働く人の処遇についてモニタリングを実施し担保していくとのことであったが、現状はどうか。

答 【代表監査委員】制度の導入で市民サービスの拡充と利用の拡大を図った事例があり、一定の成果は得られているものと評価している。一方、事務手続き上の関与が十分とはいえないものも見受けられたが、随時改善している。指定管理料の算定の方法や職員の処遇改善は、全庁

的に統一された方法で算定されている旨聞いている。

【市長】制度運営自体は安定してきたと考えている。指定管理者として市民サービスの向上となるような取り組みを行うことが重要であり、毎年度の自主事業の実施のほか、効率的な運営を行った上で民間の発想を活かした柔軟な運営が行われているものと認識している。

健康医療先進都市の具現化 (仮称)がん撲滅宣言都市を！

問 検診、早期発見、治療、予後について一体的な取り組み体制を構築し、仮称「がん撲滅宣言都市」を標榜してはどうか。来年、重粒子線がん治療施設が稼働することが発表されており、時宜を得たものになると考えるがどうか。

答 「検診、早期発見、治療、予後」の一体的な取り組み体制の構築については、医療関係者などと十分に協議し、検討する必要があると考えている。また、本市としてはスクスク生活を推進し、健康寿命の延伸を図りながら、健康医療先進都市の実現をめざしていることからがん撲滅に限らず、「都市宣言」という形も視野に入れている。

羽前千歳駅のバリアフリー をすすめよ！

問 北山形駅では、バリアフリー事業がすすめられようとしているが、このようなバリアフリー事業をほかの駅でも展開する考えはないか。



バリアフリー化実現を



急な階段、相当な覚悟で赴いている

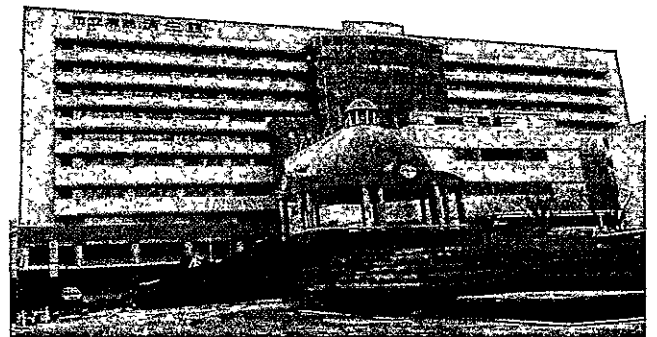
仙山線の高速・安定化に向けて、当面抜本的な改良が出来ないとすれば、仙山連携の中で、利用客の利便をすすめる利用者を増やす手立てが必要と考える。

答 北山形駅のエレベーターの整備について、関係機関と協力しながらすすめている。その他の駅の整備についても、来年度から山形市重要要望事業に新たに盛り込み、国やJR東日本へ働きかけていく。

済生館を早急に建替を！ 大沼閉店で戦略の見直しは？

問 市民の健康と命を守る拠点としての済生館だが、狭さについての市民の声を聞く。最新の機器を導入する際など支障はないのか。

健康医療先進都市に相応しい病院建設を喫緊の課題として取り組むべきでないのか。

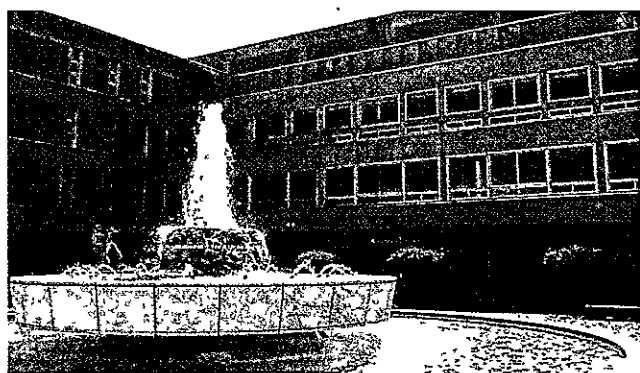


命と健康の拠点「済生館」

答 【病院事業管理者】ハイブリッド手術など最新の医療環境を提供するものについては、現在の病院での設置は困難であるため、現在の施設規模の中で可能な範囲で医療機器の導入をすすめていく。

【市長】建替の時期や場所なども含めた方向性について検討していく。現在地での増改築などは敷地の広さが十分でないことから難しいと考えているが、市全体の基幹病院の配置や中心市街地活性化の観点から中心市街地内への配置が望ましいと考えている。

問 大沼閉店に伴い、中心市街地活性化の戦略の見直しが必要になってくると思うがどうか。また、時を同じくして構想が発表された「新市民会館」の建設は変わりはないのか。

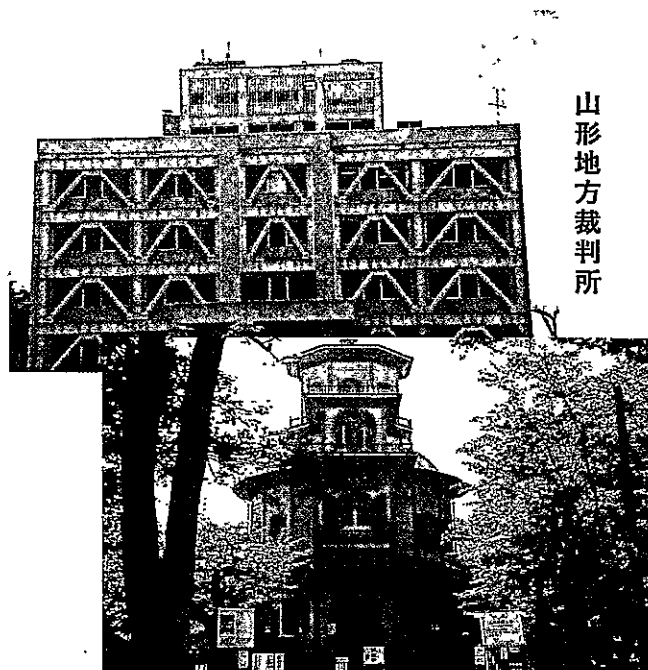


旧 県 民 会 館

答 地元商店街と連携をとりながら、新たなプロジェクトを追加し、中心市街地の活性化を図っていく。また、市民会館の移転先に検討している県民会館跡地は、ランドデザインでは歴史・文化ゾーンと位置づけているため、合致するものと考えている。なお、県民会館の移転後、新たな集客施設の設置が要望されており、その要望にも応えられるものであると考えている。

問 昨年6月に山形地方裁判所の移転を要請し、移転後は霞城公園にある郷土館の移築が検討されている。まちづくりのため、受け身の姿勢ではなく積極的な働きかけをすべきと考えるがどうか。

答 山形地方裁判所は、中心市街地ランドデザインで位置づけている、歴史・文化推進ゾーンの特性に合った土地利用とするため、移転を要請した。要請に対して、可能な限り協力する旨の回答をいただいております。今後、丁寧に協議をすすめていきたいと考えている。



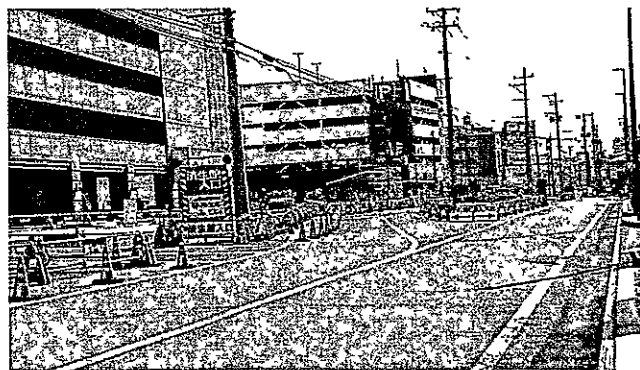
山形地方裁判所

移築が計画されている郷土館

問 栄町通りが部分開通する。県都の新しい顔としてまちなみを形成していく必要があると考える。

諏訪町七日町線とともに東西のベクトルをも生むものと考えているがどうか。

答 地元住民や事業者などで構成する「栄町大通り街づくり委員会」が設立され、山形市景観条例に基づく、まちなみデザイン協定が策定されている。景観計画や中心市街地活性化ランドデザインが示す将来像をめざし、委員会をはじめとする関係者と連携しながら、まなび館などの観光施設と調和した賑わい創出につながるまちなみ形成を図っていく。



工事すすむ栄町通り・県都の新しい顔づくり

新年度
予算

総額1,889億円

(一般会計953億円)可決!

山形市基本構想を改訂!



新発展計画2025、連携中枢都市圏ビジョンを決定!

新型コロナウイルス感染症の蔓延と経済への計り知れない影響が懸念されるなか、新年度当初予算総額1,889億円(一般会計953億円、8特別会計512億円、3企業会計424億円)をはじめ、健康先進医療都市を具現化していく山形市基本構想の改訂、新発展計画2025、山形連携中枢都市圏ビジョン、山形市国土強靱化計画、山形市災害廃棄物処理計画、山形市洪水ハザードマップ(洪水避難地図)の改訂、市道路線の認定、山形市市営住宅条例の一部改正、補正予算などの議案を審査、質疑した三月定例議会は、2月27日から3月24日までの27日間開会され、いずれも原案のとおり可決、決定するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する国へなどへの意見書提出などを採択、教育委員に白鳥樹一郎氏の再任に同意し閉会しました。

◎胃がん検診(内視鏡検査)事業

27,968千円

胃がんの早期発見・早期治療を図るため、これまで実施してきた胃部エックス線(バリウム)検査への一部助成に加え、50歳以上の偶数年齢の者が受診する胃内視鏡検査への一部助成を新たに実施する。

◎肝炎ウイルス検診事業

1,971千円

肝炎ウイルス検診の受診機会を拡大するため、健康診査にあわせて受診できる体制を整備し、検診費用の一部を助成する。

◎猫の不妊・去勢手術費補助金交付事業

1,454千円

猫の不適切な繁殖による生活環境の悪化を防ぐため、飼い主のいない猫等の不妊または去勢手術を実施する者等に対し、手術費用の一部を助成する。

◎重粒子線がん治療費助成事業

1,301千円

「次世代型医療用重粒子線照射装置施設」による治療を受ける市民に対して、その費用の一部を助成する。また、治療費を金融機関から借り入れた場合の利子に対する助成をあわせて実施する。

◎一歳児受入促進支援事業

31,008千円

特に待機児童の多い1歳児の受入を促進するため、弾力的に受入をしている保育所等に対し、運営費及び保育士給与(増員分)の補助を行い、待機児童の解消を図る。

主な新規事業の概要

◎推定食塩摂取量検査事業

6,712千円

SUKSK生活を推進する一環として、食事における減塩について市民の意識を高めるため、推定食塩摂取量検査を公民館等で行う集団検診にあわせて行う。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 2年 7月 28日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	3	9,	0	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								
支出内容	市政報告書ふれあいNo.124 1,500部印刷代 39,000円 ニツ折 1,500部 × @26 (税込み) =39,000円								

領収証

NO.

令和 2年 7月 28日

遠藤吉久 様

金額 ¥ 39,000-

内消費税額 ¥ 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

但しふれあい NO.124 1500部

入金内訳

現金

小切手

相殺

大仁堂印刷所
合資会社 大仁堂印刷所
〒990-0047 山形市旅籠町2-1-33
TEL (023) 622-2531 FAX 624-2482

コロナ対策を含む補正予算(33億7千万円)を可決!!

売上減少事業者の無利子補給枠大幅拡大!

—安心生活・感染予防・経済活動支援策を強化へ!—

コロナ対応の 主な6月補正予算(千円)

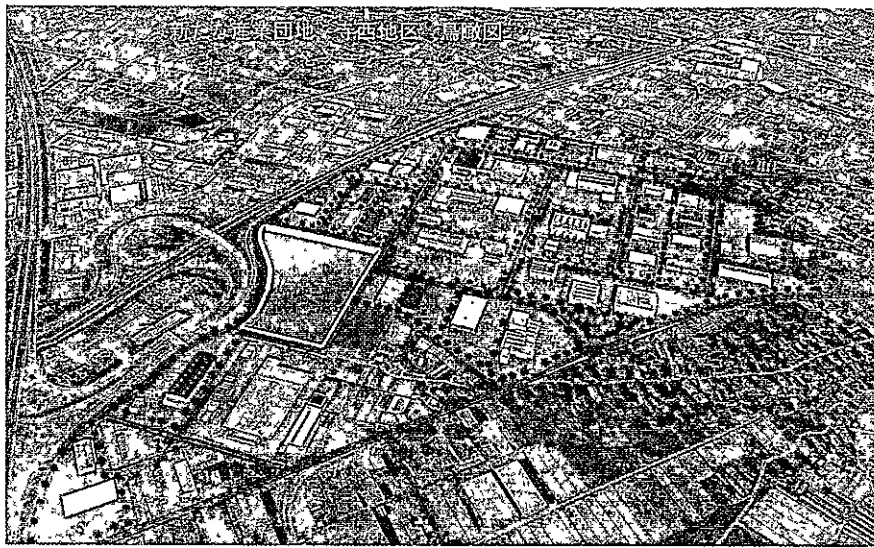
◇放課後児童クラブ保育料支援補助金 感染拡大を防止するためのクラブへの補助	14,440
◇市立小中学校タブレット導入事業 生徒へのタブレット端末10,129台の導入	33,228
◇保育料負担軽減事業 登園回避要請に協力した利用者の保育料の減額	9,982
◇感染症対策店舗支援補助金(家賃) 休業等の対応を行う事業者に対し賃料の支援を行う	130,000
◇感染症対策店舗支援補助金(販売方法) テイクアウト、宅配等の導入の場合の費用補助	1,900
◇経済活動再開対策店舗支援補助金 パーテーションの導入、設置費の補助	1,500
◇山形県緊急地域経済対策協議会負担金 商店街等での販売促進など商店街などへの補助	6,603
◇避難所感染予防備蓄品整備事業 消毒液、毛布、体温計、段ボールベッドなどの配備	22,947
◇保育士等への慰労金支給事業 民間保育施設職員2,166人に3万円を支給	72,369
◇事業継続応援給付金給付事業 4045社に市独自の給付金20万円を給付する	855,804
◇コロナ対策宣言店クーポン券事業 宣言店で利用のクーポンを発行し消費拡大を図る	117,127
◇地元農畜産物活用事業 市内小中高、介護施設に提供し消費拡大を図る	8,500
◇小中学校再開感染症対策事業 消毒液、非接触型体温計、冷風機などの整備	120,340
◇家庭学習支援通信機器整備事業 家庭のインターネット通信設備ルーターの導入費	16,387

新型コロナウイルスによる安心な生活、感染予防、経済活動の支援を図る六月定例議会は、六月一日から、同二六日までの一六日間開催され、定例会当初上程補正予算一六億三千八百万円、最終日の追加上程予算一七億三千一百万円を可決、化学消防自動車、高規格救急自動車の購入、西山形コミセンの工事請負契約、コロナウイルス感染症等に対応する市税条例の特例措置等の事件決議についても可決し、山形市監査委員、山形市情報公開・個人情報保護審査委員会委員の選任、山形市農業委員の任命にそれぞれ同意し、請願については免税軽油制度の継続を採択しました。

また、事業者への地域経済変動対策資金の利子補給について、融資枠が二〇〇億円から六三〇億円に大幅拡大されたことから、今後一〇年間の一%の利子相当額の債務負担について同意しました。

市民連合山形市議団(佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛)は、これまで一七回(七月一六日現在)の独自対策会議を行い、現状をきめ細かく分析するとともに、健康医療部、農林部からの聞き取り調査を実施し、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行ってきたと報告しています。

以下、今議会での主な内容について、ご報告いたします。



コロナ後を見据え 新産業団地建設へ

（令和六年度造成着手へ）

寺西地区西側区域から先行開発

建設地は、

企業誘致に直結する立地条件（企業からみた立地優位性）及び開発条件（開発事業の進めやすさ、優位性）を評価基準とした上で、「寺西地区」が選定されました。

なる調整が必要となり、関係機関との協議に時間を要することが想定されるため、当面令和二年度から許認可申請等の事前協議を開始できる西側区域（二〇ヘクタール）から先行して開発していくことが示されました。

令和二年度は、現況測量、地質調査、基本設計とあわせ、各種許認可申請の事前調整が進められます。

今後の課題としては、①土地利用の規制に係る許認可等、関係機関との事前協議 ②公共施設の新設、廃止及び変更等についての事前協議 ③雨水調節池の規模及び有効利用計画 ④国道一三号から計画区域への乗入道路の整備、改良 ⑤主要地方道山形山寺線の右折レーンの設置や幅員拡幅

⑥農業用水路等の機能維持、必要水量を確保するための水路の付替え、⑦用地買取のための十分な時間の確保 ⑧事業費低減策の検討と想定総事業費の早期把握 ⑨全体整備をしていくため東側区域についても、

引き続き関係機関との協議を行うこと。等が上げられます。

コロナ後を見据えた、工業団地造成にしていくこと

山形市が中心となって

「給食用炊飯施設」建設へ

（沼木給食センター隣接地に）

村山地域の米飯提供業者の工場設備が老朽化し、金属片が混入する事故が相次いでいました。

このことから、設備を更新する必要がありますが、業者単独での自力設備更新が難しいことから、山形市に新工場建設の要請があったものです。

これを受けて、山形市では最低限市内小中学校二〇、〇〇〇食の米飯を提供できる施設として、さらには連携中枢都市圏を構築する五市六町からの意向を確

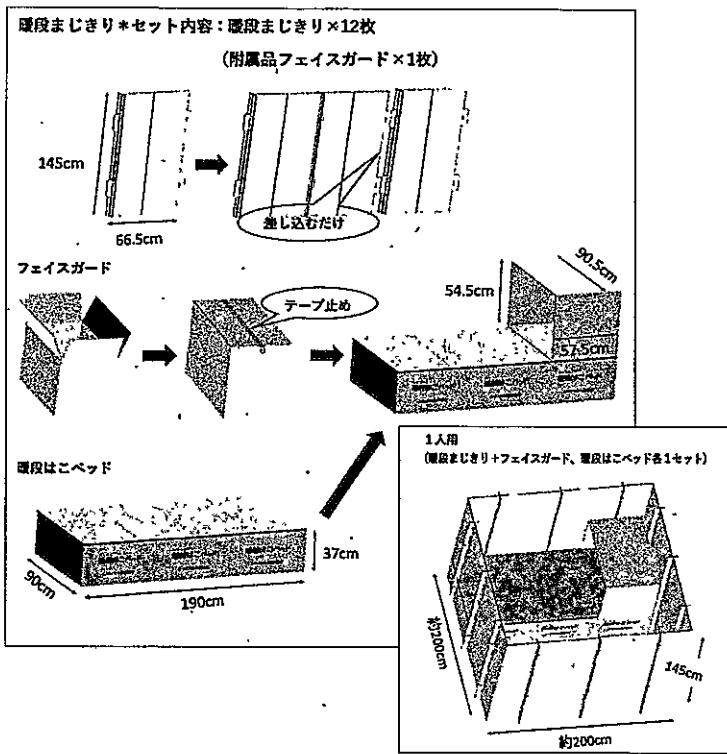
が求められます。

計画では、令和六年度に造成工事開始に向けて取り組んでいきます。

認し、最大四〇、〇〇〇食を提供できる施設を整備することとして、基本調査の委託料三三、三八七千円を可決しました。

建設地は沼木の給食センターの隣接地として、運営はPFI、指定管理者、連携中枢都市圏の事業として取り組むか等については今後の検討としています。

委託料の財源としては、七五%を学校給食センター整備事業債で賄うこととなります。



新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、災害時の避難所に備蓄する段ボール製のパーテーションやベッド等を導入すること

になりました。避難者同士の距離をとったり、床からの感染を防いだりする趣旨です。
九州地方を中心とする線



隣接する西山形小学校と公道を使用せずに往来できること、放課後児童クラブとは別個に西部児童館自由来館機能を移設する「こども部屋」を併設するセンターが来年三月一日の竣工に向けて着工します。
築大建設・石川建設産業建設工事JVが二億六六六万円(税抜き)で落札しました。

西山形コミュニティセンター工事着工へ

状降水帯による豪雨災害でも、避難とコロナ対策が問題、課題となっているおり、「設備を施すにことにより、さらに収容人数が減ることになるがその対応はどうか」との質疑に対して、「シミュレーションでは収容人数が半分程度となるため、避難所を開設する際には近隣の避難所も開設したい。また、学校の避難所では校舎内も使用できるよう教育委員会と調整をしている。」との答弁がありました。

PCR検査対応「コロナセンター」設置!

検査の需要などに応えるため、「新型コロナセンター」が「山形市医師会」の運営で設置されました。開設は日曜日の午前9時から午後0時まで。市内に住所を有し、感染の疑いがあり、要検査と判断された軽症の方が対象となります。初診料や検体採取料は通常の診療払い(3割負担)ですが、PCR検査は行政検査になるため無料です。

心配な方は、「新型コロナ受診相談センター、0120-88-0006(24時間対応)」へ。

「国民健康保険税」・「介護保険料」の減免について

新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯の主たる生計維持者の収入が減少することが見込まれる場合、申請によってそれぞれ減免されます。令和2年度の事業収入や給与収入などが、令和元年度に比べて10分の3以上減少する見込みであること、または令和元年度の所得合計額が400万円以下であることなどが条件となります。

各媒体で周知しているほか、納税・納入通知書の送付時に、減免のお知らせを同封します。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 2年 9 月 1日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	8	2,	5	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容
 市政報告書No. 53 遠藤印刷代
 @30 × 2,500部 = 75,000円 + 消費税 = 82,500円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

32599

遠藤 善久 様

2020年 9 月 1 日

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				8	2	5	0	0

内品代金	円
消費税額	円

但し市政報告書53/2,500部 @30
 印刷代
 上記の金額正に領収致しました

- 現金
- 小切手
- 手形
- 振込
- 相殺

中央印刷株式会社
 〒990-0051 山形市銅町1-5
 TEL 023-553340

取扱者印

中核市からの県都づくり

No. 53 6月定例議会・コロナ関係特集号

よし ひさ

えんどう 吉久市政報告

発行責任者 遠藤吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

H P <http://www.endo-yoshihisa.jp>

E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp

安心市民生活と 経済確立に全力!!



市民の皆様方におかれましては、さぞやご不便な様々な制約のある毎日をお過ごしのことと拝察いたします。

緊急事態宣言は解かれましたが、なお連日感染者が発表されており、一日も早い収束が待たれます。ともすれば、暗い気持ちになりがちですが、元気に登校する子どもたちの姿をみるにつけ、勇気づけられております。

まだまだ、先が見通せない状況ではありますが、皆さんとともに、英知を結集して頑張っ

て参りたいと存じます。

今必要と思われる、身近なものへの予算ですの

花

笠まつりをはじめ、大花火大会、日本一の芋煮会、まるごとマラソンも中止を余儀なくされ、恒例の夏の甲子園野球大会も、またしかりとなりました。

一方で新しい生活様式に則って工夫しながら、新たな試みも始まっています。

6

月定例議会では、コロナ対策の市独自の取り組みなどの予算33億7千万円を議決しました。



霞城セントラル4階の対策本部

経

済を立て直し、確立していくためには、アクセルとブレーキを交互に踏み分けながらの、慎重な行政の取り組みが求められている状況です。

それには、常に市民の皆様方のご心配やご希望に寄り添ったことが前提となります。是非、ご意見、お考えをお寄せいただきますようお願い申し上げます。

ご奮闘いただいております、医療、保育、介護、学校をはじめとする皆様方に感謝を申し上げましてごあいさついたします。

当面の課題解決予算をスピーディーに

感染予防・経済回復などの補正予算

33億7千万円を可決!!

新型コロナウイルスによる安心な生活、感染予防、経済活動の支援を図る6月定例議会は、6月11日から、同26日までの16日間開催され、定例会当初上程補正予算16億3千8百万円、最終日の追加上程予算17億3千1百万円を可決、化学消防自動車、高規格救急自動車の購入、西山形コミセンの工事請負契約、コロナウイルス感染症等に対応する市税条例の特例措置等の事件決議についても可決し、山形市監査委員、山形市情報公開・個人情報保護審査委員会委員の選任、山形市農業委員の任命にそれぞれ同意し、請願については免税軽油制度の継続を採択しました。

また、事業者への地域経済変動対策資金の利子補給について、融資枠が200億円から630億円に大幅拡大されたことから、今後10年間の1%の利子相当額の債務負担について同意してきました。

以下、今議会での主な内容について、ご報告いたします。

6月議会で可決した コロナ関連補正予算；千円

- ◇放課後児童クラブ保育料支援補助金
14,440円 感染拡大を防止するためのクラブへの補助
- ◇市立小中学校タブレット導入事業
33,228円 生徒へのタブレット端末10,129台の導入
- ◇保育料負担軽減事業 9,982円
登園回避要請に協力した利用者の保育料の減額
- ◇感染症対策店舗支援補助金（家賃）
130,000円 休業等の対応を行う事業者に対し賃料の支援を行う
- ◇感染症対策店舗支援補助金（販売方法）
1,900円 テイクアウト、宅配等の導入の場合の費用補助
- ◇経済活動再開対策店舗支援補助金
1,500円 パーテーションの導入、設置費の補助
- ◇山形県緊急地域経済対策協議会負担金
6,603円 商店街等での販売促進など商店街などへの補助

- ◇避難所感染予防備蓄品整備事業
22,947円 消毒液、毛布、体温計、段ボールベッドなどの配備
- ◇保育士等への慰労金支給時業
72,369円 民間保育施設職員2,166人に3万円を支給
- ◇事業継続応援給付金給付事業
855,804円 4,045社に市独自の給付金20万円を給付
- ◇コロナ対策宣言店クーポン券事業
117,127円 宣言店で利用のクーポンを発行し消費拡大を図る
- ◇地元農畜産物活用事業
8,500円 市内小中高、介護施設に提供し消費拡大を図る
- ◇小中学校再開感染症対策事業
120,340円 消毒液、非接触型体温計、冷風機などの整備
- ◇家庭学習支援通信機器整備事業
16,387円 家庭のインターネット通信設備ルーターの導入費
- ◇県外在学学生支援事業 6,200円
8都道県在学学生に特産品を送付

都市計画街路・道路新設改良・都市公園の各事業 進捗率大幅アップ! 11億1千万円を補正!

山形市国土強靱化 地域計画の早期策定が奏功

基盤整備に11億1千万円を補正し、街路事業等の進捗が大きく図られることとなりました。

市では、少しでも多くの財源、有利な起債などの確保に努めていますが、「山形市国土強靱化地域計画」を他自治体に先駆けて策定したことによって、この度の国からの財源確保につながったものです。

このことによって、今年度の街路事業の進捗は次のようになる予定です。

街路事業の進捗状況

- ◎四日町山家町線（六日町）
デザイン学校付近
（四日町日月山線から改称）
 - ・令和元年度末進捗率 66%
 - ・令和2年度末予定進捗率 82%（当初）⇒87%（補正後）
- ◎諏訪町七日町線（大龍寺工区）
 - ・令和元年度末進捗率 94%
 - ・令和2年度末予定進捗率 100%（当初）完成
- ◎十日町双葉町線（十日町工区）
山形学院高付近
 - ・令和元年度末進捗率 32%
 - ・令和2年度末予定進捗率 39%（当初）⇒49%（補正後）
 - ・令和5年度頃完成予定
- ◎諏訪町七日町線（建昌寺前工区）
 - ・令和元年度末進捗率 2%
 - ・令和2年度末予定進捗率 2%（令和2年3月補正で前倒し）
 - ・令和3年度から事業認可予定

この結果、都市再生整備計画の進捗率は事業費累計で81.8%から96.0%となります。

霞城公園整備事業は、公園北側の二の丸土塁園路を30メートル伸ばします。

来年度の予算確保は、他自治体でも計画を策定していることから、厳しいことが予想されますが、工夫をして確保に努めていくとしています。

「国土強靱化法」に基づく 山形市の地域計画とは

東日本大震災の教訓を踏まえ、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を総合的、計画的に実施することを目的として、平成25年12月に「国土強靱化法（以下、法）」が制定されました。

山形市は、今後想定される大規模自然災害などから市民の生命と財産を守り、持続的な成長を実現するため、「致命的な被害を負わない強さ」「速やかに回復するしなやかさ」を備えた「強靱な国土づくり」を推進するため、法第13条に基づき施策を総合的、計画的に推進する基本的な計画、各種計画などの指針となるものです。

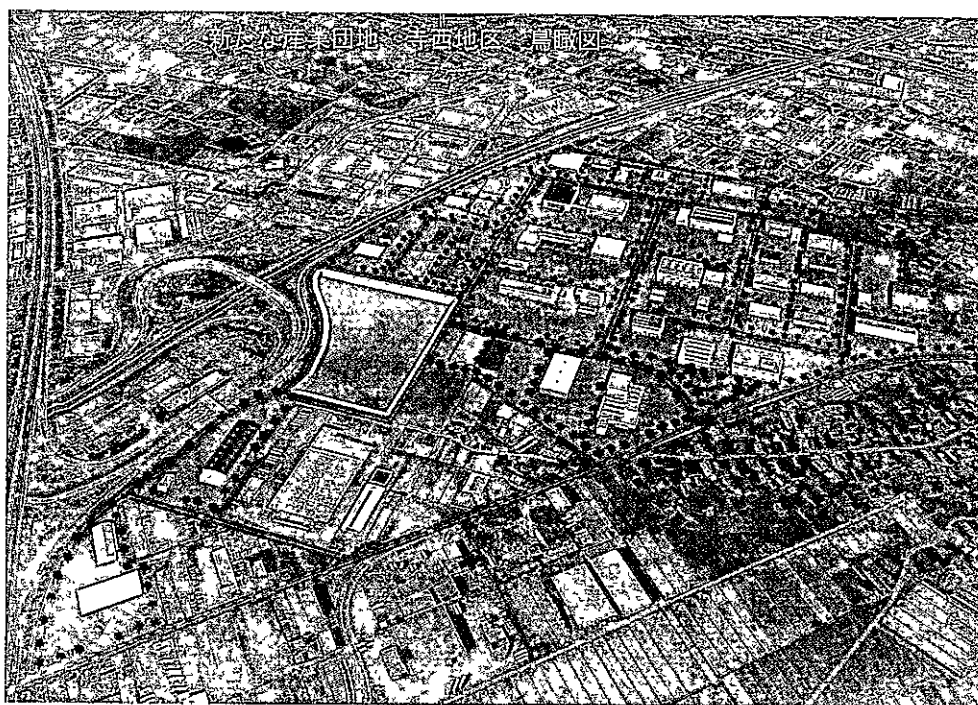


四日町山家町線 デザイン学校付近

コロナ後を見据え・令和6年度造成着手へ！

新産業団地建設へすすむ！

— 楯山寺西地域西側から先行開発 —



建設地は、企業誘致に直結する立地条件（企業からみた立地優位性）及び開発条件（開発事業の進めやすさ、優位性）を評価基準とした上で、楯山地区「寺西地域」が選定されました。

計画区域全体（40ヘクタール）を整備していくには、土地利用等について更なる調整が必要となり、関係機関との協議に時間を要することが想定されるため、当面令和2年度から許認可申請等の事前協議を開始できる西側区域（20ヘクタール）から先行して開発していくことが示されました。

令和2年度は、現況測量、地質調査、基本設計とあわせ、各種許認可申請の事前調整が進められます。

今後の課題としては、
①土地利用の規制に係る許認可等、関係機関との事前協議
②公共施設の新設、廃止及び変更等についての事前協議
③雨水調節池の規模及び有効利用計画
④国道13号から計画区域への乗入道路の整備、改良
⑤主要地方道山形山寺線の右折

レーンの設置や幅員拡幅
⑥農業用水路等の機能維持、必要水量を確保するための水路の付替え、
⑦用地買収のための十分な時間の確保
⑧事業費低減策の検討と想定総事業費の早期把握
⑨全体整備をしていくため東側区域についても、引き続き関係機関との協議を行うこと。

などが上げられます。

コロナ後を見据えた、戦略的な工業団地建設にしていくことが求められます。

計画では、令和6年度に「造成工事開始」に向けて精力的に取り組んでいきます。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 2年 10 月 30日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	7	7,	0	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								
<p>支出内容 市政報告書No.54 印刷代 @35 × 2,000部 = 70,000円 + 消費税 = 77,000円</p>									

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

No. 32537

領 収 証


2020年 10 月 30 日

支 払 先 様


金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
¥	7	7	0	0	0	0	0	-

内品代金		円
消費税額		円

但し市政報告書 No.54 2000部 @35
 印刷代として
 上記の金額正に領収致しました



中央印刷株式会社
 〒990-0051 山形市銅町1-1-5
 TEL 022-273-5533

取扱者印


中核市からの県都づくり

No.54 9月定例議会・7月豪雨関係特集号

よし ひさ

えんどう 吉久市政報告

発行責任者 遠藤吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

H P <http://www.endo-yoshihisa.jp> E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp

7月豪雨で被災された皆様に 心からお見舞い申し上げます

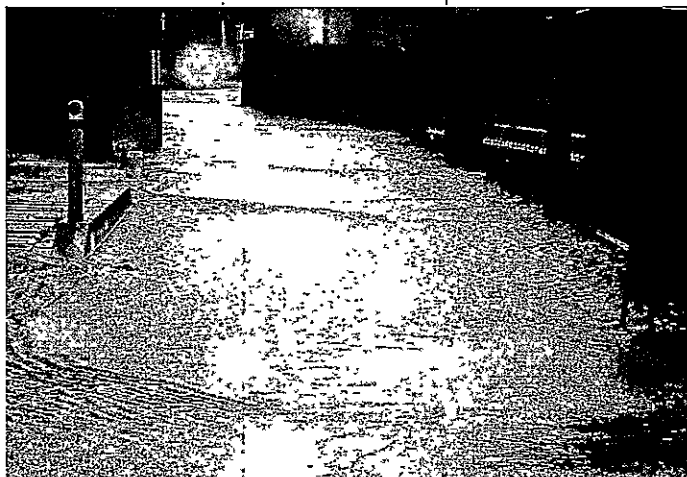


市民の皆様方におかれましては、新型コロナウイルスの影響で引き続きご不便な様々な制約のある毎日をお過ごしのことと拝察いたします。

加えて7月28日に発生した集中豪雨でも不安なご心配な時を過ごされたことと存じます。幸いにして人的な被害はありませんでしたが家屋の浸水、河川、土砂災害、道路インフラなどに大きな被害が発生しました。

また、県内的にも最上川の氾濫などによって広域に大きな被害が発生しました。

被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧について尽力して参りたいと存じます。



生活道路も一瞬で濁流に！

豪雨当日は、ハザードマップの

浸水想定地域を中心に巡回いたしました。

避難所内の様子もうかがいながら、市民の皆様方のご要望、ご意見を伺いました。コロナ禍のなかで、市民の皆様方、市当局の担当者もその避難、運営についてご苦勞をされておりました。

9月議会中に会派で避難に当たっての課題、減災についての考え方、あるいは山形市としての扇状地、急傾斜地を背景としているなどの特徴的な問題点を出しあいながら、議会としてとりまとめる提言を検討してきたところです。

最近の集中豪雨は短時間に強い雨脚で降るのが特徴で、これまでの概念、考え方でなく科学的な対処方法も考えていかなければならないと思います。

これから寒い時期を迎えます。コロナ、インフルエンザとの同時流行も大変懸念されています。

市民の皆様方の安心・安全はもとより、一日も早く以前のような日常生活になりますよう尽力して参ります。

議会で7月豪雨を教訓に「対策提言」!

子どもの受動喫煙防止条例(議会発議)を制定

— 次年度予算に反映の令和元年度決算を認定!! —

新型コロナウイルスによる市民生活への影響対策、7月28日の集中豪雨による復旧策、新年度予算に反映する令和元年度の決算などについて審査する9月定例議会は、9月10日から10月2日までの23日間開催され、新生児子育て応援特別給付金給付事業1億7千万円、山形駅西口バスベイ整備事業9,930千円、新型コロナウイルス対応保育士等慰労金交付事業1億19百万円、新型コロナウイルス対応放課後児童支援員等慰労金交付事業16百万円、7月豪雨災害復旧関連経費3億14百万円などの補正予算、事件決議では「除雪車の購入」「市道楯山停車場立谷川線道路橋整備工事」の契約締結、教育委員に引き続き「中村篤氏」の任命についてそれぞれ可決、認定、同意しました。

また、議会総意として「子どもの受動喫煙防止条例」を発議し、可決、制定し閉会しました。

コロナ対策としてこれまで会派で24回(10月6日現在)の独自対策会議を行うとともに、7月28日の豪雨被害についても被災状況を確認、調査するなどのうえで、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行ってきています。

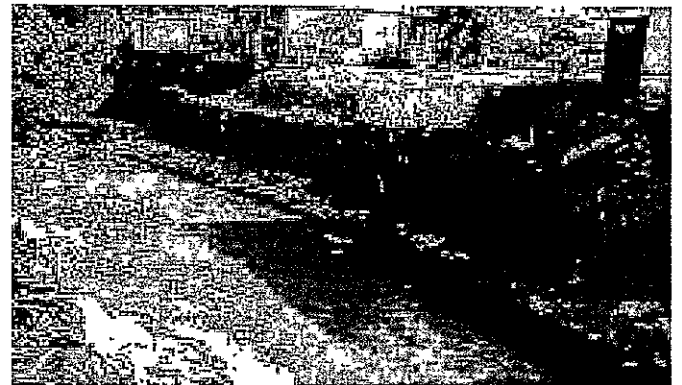
以下、今議会での主な特徴的な内容について、ご報告いたします。

て、暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で本市では28日未明から断続的に雨が降り続き、土砂災害、浸水、河川の増水や氾濫に備え警戒することとなりました。

1時間最大降水量は19・0mm、一日の降水量は155・5mmを記録、4水位観測所のうち3箇所で氾濫注意水位を超え、28日午前10時40分、5地区に土砂災害に係る避難情報「【警戒レベル4】避難勧告」を発令。次いで二度にわたって19地区に土砂災害、浸水害の避難勧告が発令されました。

その後、16時45分、浸水害に係る「【警戒レベル4】避難指示(緊急)」が5地区に発令。

29日12時33分全ての避難情報が解除。



豪雨の爪痕残る本沢地区

これらに伴い、34地区47箇所に避難所を設置し、さらに福祉避難所1箇所、感染症対策のための避難所3箇所が設置されました。

《被害状況》

幸いに人的被害はありませんでしたが、床上、床下浸水、冠水、雨漏りなどの物的被害は176件、道路、河川などの土木被害121件、農林水産被害200件、その

市長に豪雨対策を提言!!

国・県・市一体となった対策を求める!

《7月28日の概況と経過》

東北地方に停滞している梅雨前線に向かっ

他など503件の大きな被害となりました。

《抜本的な対策を市長に提言》

これら当日の状況を市民の皆さんの要望、意見を踏まえ、会派で出しあい、話し合い、議会全体の提言に網羅してもらうこととしました。

その結果、

- 1、避難所の開設等について
- 2、情報発信と連携等について
- 3、河川及び道路等への対応について
- 4、農林業への対応について
- 5、国及び県との連携について

の5つの大項目と24の詳細、具体的な項目について議会としてとりまとめ国・県・市一体となった抜本的な対策を講じるよう10月2日に提言しました。



新型コロナ
ウイルス

◎妊婦の感染症検査

感染症への不安を抱える妊婦が、かかりつけ医と相談し希望する場合に、分娩前(予定日の概ね二週間前)にPCR検査を実施します。結果が陽性となった場合、退院後に希望に応じて保健師などによる自宅訪問や電話等による相談支援や育児への助言を行う「感染妊産婦への寄り添い型支援」も併せて実施します。(費用の個人負担はありません。)



PCR検査の拠点・県衛生研究所

◎消毒費支援補助金交付事業

新型コロナウイルス感染者が発生した場合、各事業所等が「自費で消毒」を実施しています。

これを保健所の指導で実施した場合、経費

に対して30万円を限度として補助することになりました。

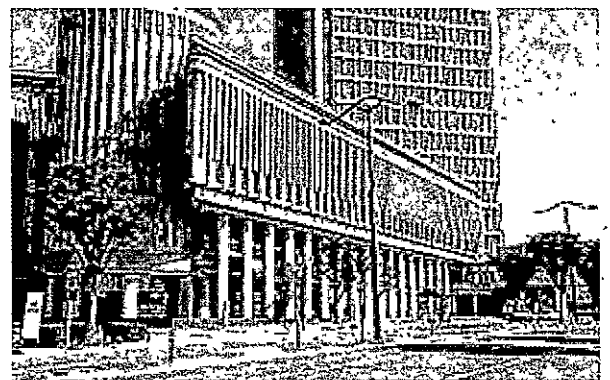
対象経費は消毒作業委託費、自ら消毒を行った場合の衛生用品購入費(消毒液、手袋、防護服)などで、4月に遡って適用となります。

◎山形駅西口にバスベイ整備へ

霞城セントラル南エリアにバス2台、貸切バス1台が発着可能なバスベイ(延長40m)、バス停、ベンチを整備します。令和4年度の供用開始予定です。

東口の路線バス660便のうちの110便、貸切バス全部を移設します。

待客が密になっている状態を解消し感染拡大防止にも寄与します。



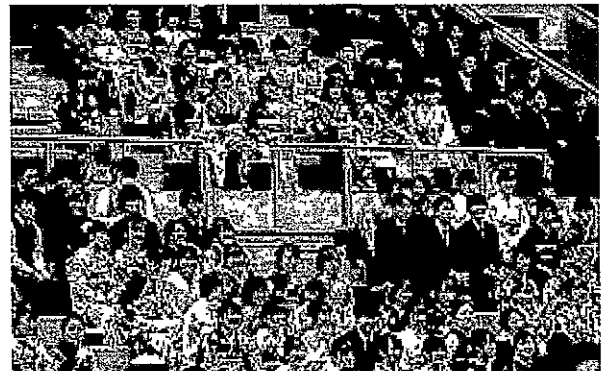
新設される霞城ビル南側

◎「山形市成人の祝賀会」

令和3年5月2日に延期

寒さ乾燥などによる新型コロナウイルス感染拡大の危険を回避するため、1月10日に予定していた「成人の祝賀会」が延期されます。

延期後の日程は、令和3年5月2日(日)とし、卒業した中学校区ごとに概ね南北のエリアに区分し、午前と午後の2回に分けての開催となります。



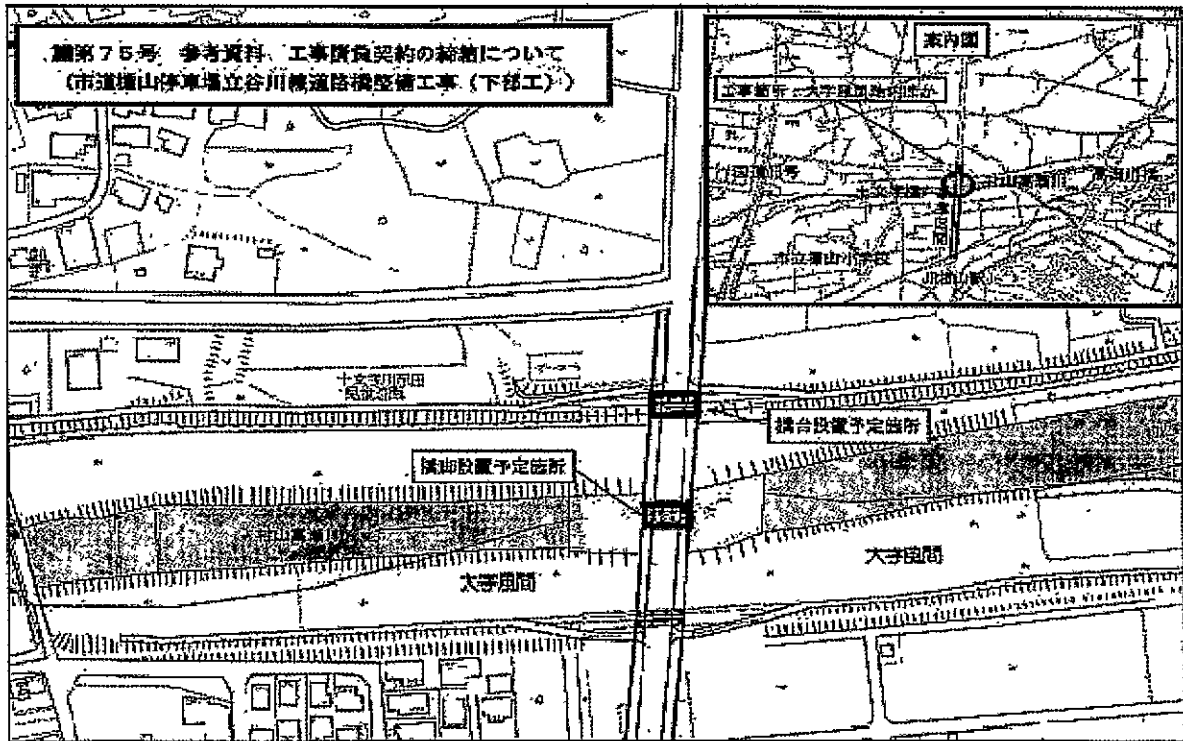
来年は五月開催に!

◎市道楯山停車場立谷川線道路橋
 整備工事（下部工）工事請負契約を締結

J R 楯山駅と天童市を南北に結ぶ市道楯山停車場立谷川線の未整備区間を整備する道路改良事業の一環として、村山高瀬川を横断する橋梁（橋長86m、幅員16m）の建設を令和4年度までの3か年で実施する工事のうち、橋梁下部の橋台1基及び橋脚1基の建設工事を行うものです。

工事内容は、橋台工・橋脚工・場所打ち杭工で令和2年10月着工、令和3年3月竣工予定です。

入札には4工事共同企業体が参加し、「渋谷建設・小笠原建設」建設工事共同企業体が、2億1,450万円で落札しました。将来的には、楯山駅の活用、県道東山七浦線との接続など、重要幹線道路の位置づけを果たしていくこととなります。



県内初!!

「子どもの受動喫煙防止条例」を制定!!

喫煙、受動喫煙による健康被害が声高に叫ばれる中、県内初となる「子どもの受動喫煙防止」に特化した条例として山形市議会の総意で可決制定しました。

受動喫煙による健康被害について、専門家を招聘し勉強会を開催するとともに、各党派からの「世話人会」を組織し条例案文について慎重な検討を重ねてきました。

条例は全12条からなり、周知期間を経て来年3月1日から施行となります。市民、行政一体となった実効ある取り組みが期待されます。

議員はどんな

発言をしている?

これからは具体的に分かります!!

これまで、委員会の議事録は「要点筆記」、かつ発言者は「委員」としか記録されず、誰が発言しているのかわかりませんでした。

それを議会改革の一環として、発言委員名を記録し、かつ発言の全てを記録、公表することにしました。

これからは、発言の有無、内容すべてについて市民がチェックできます。

一層の緊張感のある質疑、中身の濃い議論の応酬が期待されます。!

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 2年 11月 11日 支出					
調査旅費	<input type="checkbox"/>							
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	3	9,	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>							
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所					
資料購入費	<input type="checkbox"/>							
人件費	<input type="checkbox"/>							
事務所費	<input type="checkbox"/>							
通信・交通費	<input type="checkbox"/>							
<p>支出内容 市政報告書ふれあいNo.125 1,500部印刷代 39,000円 ニツ折 1,500部 × @26 (税込み) = 39,000円</p>								

領収証

遠藤吉久 様

金額 **¥ 39,000-**

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。
 但しふれあい125号 1,500部

大仁堂印刷
 合資会社 大仁堂印刷所
 〒990-0047 山形市旅籠町2丁目1033
 Tel. (023)622-2531 Fax. 624-2482

NO. _____

令和 2年11月11日

内消費税額 ¥ 税込

入金内訳

現金 0

小切手 _____

相殺 _____



七月豪雨で被災された皆様方に 心からお見舞いを申し上げます！



山形市議会議員

えんどう 吉久

最近の集中豪雨は短時間に強い雨脚で降るのが特徴です。

これまでの概念、考
え方でなく科学的な対
処方法も考えていかな
ければならないと思
います。

これから寒い時期を
迎えます。インフルエ
ンザとの同時流行も大
変懸念されています。

市民の皆様方の安
心・安全はもとより、
一日も早く以前のよう
な日常生活になります
よう尽力して参りま
す。

是非ご意見、ご要望
につきましましてお寄せ
いただきますよう、よろ
しくお願い申し上げます。

市民の皆様方におか
れましては、新型コロナ
ウイルスの影響で引
き続きご不便な様々な
制約のある毎日をお過
ごしのことと拝察いた
します。

加えて七月二八日に
発生した集中豪雨でも
不安なご心配な時を過
ごされたことと存じま
す。

幸いにして人的な被
害はありませんでした
が家屋の浸水、河川、
土砂災害、道路インフ
ラなどに大きな被害が
発生しました。

また、県内的に最上
川の氾濫によって広域
に大きな被害が発生し
ました。

被災された皆様方に
心からお見舞いを申し
上げますとともに、一
日も早い復旧について
尽力して参りたいと存
じます。

豪雨当日は、私も会
派の同僚議員と連絡を
取り合いながら、ハ
ザードマップの浸水想
定地域を中心に見回り
をいたしました。

避難所の様子もわか
がないながら、市民の皆

様方のご要望、ご意見
を伺いました。コロナ
禍のなかで、市民の皆
様方、市当局の担当者
もその避難、運営につ
いてご苦勞をされてお
りました。

九月議会中に会派で
避難に当たったつての課
題、減災についての考
え方、あるいは山形市
としての扇状地、急傾
斜地を背景としている
ことなどの特徴的な問
題点を検討しながら、
議会としてとりまとめ
る提言に盛り込むこと
としました。

議会で7月豪雨を教訓に「対策提言」を市長に提出!!

「子どもの受動喫煙防止条例(議会発議)」を制定!

— 次年度予算に反映する令和元年度決算を認定! —

新型コロナウイルスによる市民生活への影響対策、七月二八日の集中豪雨による復旧策、新年度予算に反映する令和元年度の決算などについて審査する九月定例議会は、九月一〇日から一〇月二日までの二三日間開催され、新生児子育て応援特別給付金給付事業一億七千万円、山形駅西口バスベイ整備事業九、九三〇千円、新型コロナウイルス対応保育士等慰労金交付事業一億九百万円、新型コロナウイルス対応放課後児童支援員等慰労金交付事業一六百万円、七月豪雨災害復旧関連経費三億一四百万円などの補正予算、事件決議では「除雪車の購入」「市道楯山停車場立谷川線道路橋整備工事」の契約締結、教育委員に引き続き「中村篤氏」の任命についてそれぞれ可決、認定、同意しました。

また、議会総意として「子どもの受動喫煙防止条例」を發議し、可決、制定し閉会しました。
市民連合山形市議団(佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛)は、「コロナ対策としてこれまで二四回(一〇月六日現在)の独自対策会議を行うとともに、七月二八日の豪雨被害についても被災状況を調査するなどのうえで、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行ってきています。以下、今議会での主な特徴的な内容について、ご報告いたします。

七月豪雨で被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます 抜本的・総合的な豪雨対策を求めます!!

国・県・市一体となった取組みを市長に提言

《七月二八日の概況と経過》

東北地方に停滞している梅雨前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で本市では二八日未明から断続的に雨が降り続き、土砂災害、浸水、河川の増水や氾濫に備え警戒することとなりました。

一時間最大降水量は一
九・〇㎜、一日の降水量は
一五五・五㎜を記録、四水
位観測所のうち三箇所で氾
濫注意水位を超え、二八日
午前一〇時四〇分、五地区
に土砂災害に係る避難情報
「【警戒レベル四】避難勧
告」を發令。次いで二度に
わたって一九地区に土砂災
害、浸水害の避難勧告が發
令されました。
その後、一六時四五分、
浸水害に係る「【警戒レベ
ル四】避難指示(緊急)」
が五地区に發令。
二九日一二時三三分全て
の避難情報が解除。



豪雨の爪痕残る本沢地区

これらに伴い、三四地区
四七箇所避難所を設置し、
さらに福祉避難所一箇所、感
染症対策のための避難所二箇
所を設置されました。

《被害状況》

幸いに人的被害はありませんでしたが、床上、床下浸水、冠水、雨漏りなどの物的被害は一七六件、道路、河川などの土木被害一二一件、農林水産被害二〇〇件、その他など五〇三件の大きな被害となりました。

《抜本的な対策を市長に提言》

これら当日の状況を市民の皆さんの要望、意見を踏まえ、四議員で出しあい、話し合い、議会全体の提言に網羅してもらうこととしました。
その結果、
一、避難所の開設等について
二、情報発信と連携等について
三、河川及び

道路等への対応について

四、農林業への対応について
五、国及び県との連携について
の五大項目二四詳細項目について議会としてとりまとめ国・県・市一体となった抜本的な対策を講じるよう一〇月二日に提言しました。

議員は
どんな発言をしている？
これからは 具体的に 分かります!!

これまで、委員会の議事録は「要点筆記」かつ発言者は「委員」としか記録されていませんでした。

それを議会改革の一環として、発言委員名を記録し、かつ発言の全てを記録、公表することにしました。

これからは、発言の有無、内容すべてについて市民がチェックできます。

一層の緊張感のある質疑、中身の濃い議論の応酬が期待されます!

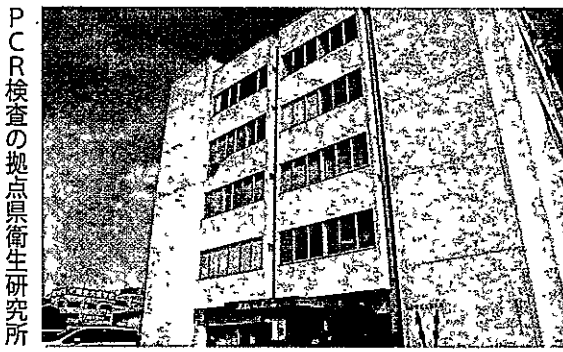
新 型
コロナウイルス



妊婦の感染症検査

感染症への不安を抱える妊婦が、かかりつけ医と相談し希望する場合に、分娩前(予定日の概ね二週間前)にPCR検査を実施します。結果が陽性となった場合、退院後に希望に応じて保健師などによる自宅訪問や電話等による相談支援

や育児への助言を行う「感染妊産婦への寄り添い型支援」も併せて実施します。
(費用の個人負担はありません。)



PCR検査の拠点県衛生研究所

消毒費支援補助金
交付事業

新型コロナウイルス感染者が発生した場合、各事業所等が「自費で消毒」を実施しています。

これを保健所の指導で実施した場合、経費に対して三〇万円を限度として補助することになりました。

対象経費は消毒作業委託費、自ら消毒を行った場合の衛生用品購入費(消毒液、手袋、防護服)などで、四月に遡って適用となります。

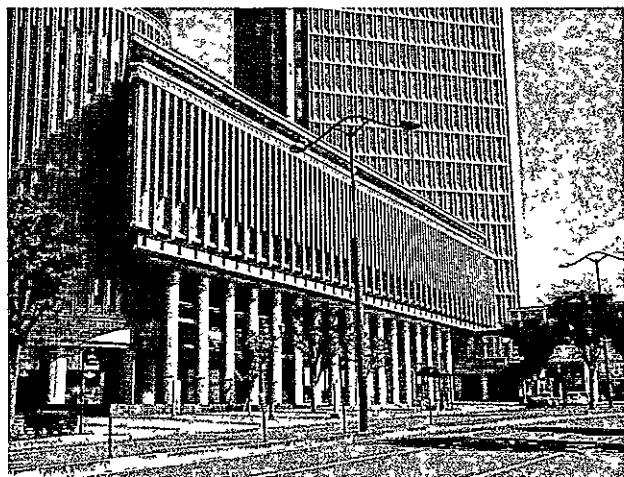
山形駅西口に
バスベイ整備へ

霞城セントラル南エリア

にバス二台、貸切バス一台が発着可能なバスベイ(延長四〇メートル)、バス停、ベンチを整備します。令和四年度の供用開始予定です。

東口の路線バス六六〇便のうちの一一〇便、貸切バス全部を移設します。

待客が密になっ



新設される霞城ビル南側

ている状態を解消し感染拡大防止にも寄与します。

「山形市成人の祝賀会」
令和三年五月二日に延期

寒さ乾燥などによる新型コロナウイルス感染症拡大の危険を回避するため、一月一〇日に予定していた「成人の祝賀会」が延期されます。

延期後の日程は、令和三年五月二日(日)とし、卒業した中学校区ごとに概ね南北のエリアに区分し、午前十と午後の二回に分けての開催となります。

区分	卒業中学校
南エリア	第1中、第6中、第8中 第9中、第10中、蔵玉1中 蔵玉2中、山大付中
北エリア	第2中、第3中、第4中 第5中、第7中、金井中 高楯中、山寺中
※市外の中学校を卒業し、現在、山形市内に居住の方は、現住所の該当エリアで出席となります。	
会場	山形国際交流プラザ (ビッグウイング)

〔仮称〕学校給食用炊飯施設
令和四年四月稼働開始へ！

「事業の進捗状況報告」

六月に策定された「基本構想」では、「現在、供給している各炊飯業者の工用設備は老朽化し、早期の更新が必要となっている。しかし、各炊飯業者は資金繰り等の問題で自力での設

備更新が難しい状況にあり、設備の故障等により米飯の供給に支障をきたすことも懸念されることから、児童生徒への安全・安心な米飯を安定的に提供できる炊飯施設をできるだけ早期に建設する必要がある。」とし、令和四年度四月稼働をめざしています。

一〇月上旬には四回目の建設に係る関係市町部課長会議を開催、以降山形連携中枢都市圏推進会議での確認を経て建設着工に向かいます。

建設協議には内陸九市町が参加しています。

建設地は、山形市沼木の山形市給食センター敷地内を予定し、常時三万食を提供する施設となります。

県内初!!
「子どもの受動喫煙防止条例」
を制定!!

喫煙、受動喫煙による健康被害が声高に叫ばれる中、県内初となる「子どもの受動喫煙防止」に特化した条例として山形市議会の総意で可決制定しました。

受動喫煙による健康被害について、専門家を招聘し勉強会を開催するとともに、各会派からの「世話人会」を組織し検討を重ねてきました。

条例は全12条からなり、周知期間を経て来年3月1日から施行となります。市民、行政一体となった実効ある取り組みが期待されます。



学校給食用炊飯施設建設用地

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 2年 12 月 28日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支 出 額	¥	8	2,	5	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支 出 先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容
 市政報告書No.55 印刷代
 @30 × 2,500部 = 75,000円 + 消費税 = 82,500円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

No. 32835

遠藤 吉久 様

2020年 12月 28日

金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				7	8	2	5	00

内	品	代	金							円
内	訳	代	金							円
			消費	税	額					円

現金 _____
 小切手 _____
 手形 _____
 振込 _____
 相殺 _____

但し 市政報告書 No.55
 2500部 @30 印刷代として
 上記の金額正に領収致しました



取扱者印

中核市からの県都づくり

No.55 12月定例議会特集号

よし ひさ

えんどう 吉久市政報告

発行責任者 遠藤吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

H P <http://www.endo-yoshihisa.jp> E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp

コロナ禍から脱却し 輝かしい一年に！

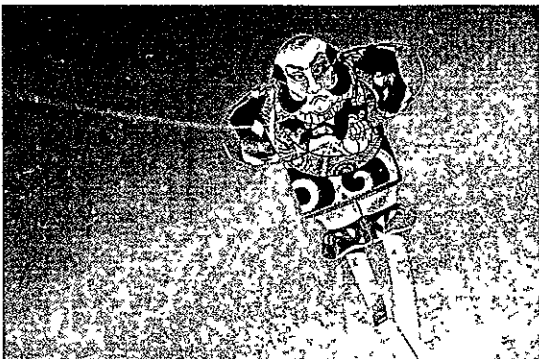


市民の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと存じます。

昨年は、大変お世話様になりましてありがとうございました。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

昨年一年間を振り返ってみますと、年初に中国の一都市から伝播したウイルスが、あっという間に世界に広がり、人々の日常生活や経済活動、文化、芸術分野まで影響するものになったことに尽きます。

各種イベント、地域行事、学校の修学旅行、運動会の果てまでが自粛、中止を余儀なくされ、世界のトップアスリートが集う、オリンピック、パラリンピックも今年に延期されています。



社会がいかにより多くの人が関わって成り立っているか、経済循環のシステムが断ち切られたときのバックアップシステム。公衆衛生体制、社会保障の脆弱性や国の施策が市民の皆さんお一人おひとりに行き渡るまでの時間、手立てなど、日常生活からは考えられない問題点や課題が浮き彫りになりました。

クチン開発と接種汎用については、昨年末から具体的になってきています。今年の前半には広く市民の皆さんにも行き渡る可能性があります。長く暗いトンネルの出口が見えてきた感があります。

今しばらくは、新生活様式に基づく制限、制約のある生活になりますが、互いに叡智を結集し、何とでもコロナウイルスを克服していきたいと思えます。

そして、2021年を市民の皆様とともに輝かしい、飛躍の年にして参りたいと存じます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

「副市長」が二人に!! 中核市移行とデジタル化へ対応

コロナ感染者に「誹謗中傷しない決議」を可決!

福祉灯油券配付などコロナ対策費補正予算可決!

新型コロナウイルス対策、7月の集中豪雨による復旧費などの補正予算、副市長を二人制にする条例、スポーツ行政を市長部局に移す部設置条例、連携中枢都市圏に新たに尾花沢市、大石田町が加わる協議案件などについて審査する12月定例議会は、11月26日から12月11日までの23日間開催され、可動式ペーパールーム設置事業費3百万円、水飲み場、トイレ蛇口回収事業費1,250万円、山形市休日夜間診療所人材確保補助金28百万円、福祉灯油券配付事業費7千万円、高齢者、妊婦、一人親世帯応援金事業費99百万円、災害復旧費2億9百万円、固定資産評価委員に引き続き「平吹和之氏」の任命についてそれぞれ可決、同意しました。

また、議会総意として新型コロナウイルス感染者に対する「誹謗中傷をなくし克服する決議」を発議し可決し閉会しました。

これまで、コロナ対策として同僚議員と27回(12月11日現在)の独自対策会議を行うとともに、7月の豪雨被害についても引き続き、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行ってきました。

以下、今議会での主な特徴的な内容について、ご報告いたします。

市7町)による「連携中枢都市圏」構築によって、権限が飛躍的に増えるとともに、これまでの山形市単体による行政運営に加え、中心市として連携中枢都市圏の各種事業、取り組みも一層増えることとなりました。

また、市が提唱、推進する「健康医療推進都市」の実現、発展計画2025の具体的推進、スクスク事業とのタイアップなど、スポーツ事業との一体的な取り組みを図り、より効果が上がる必要性が求められていました。

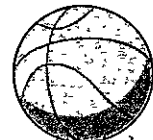
このため、副市長を2人にし、スポーツの所管を教育委員会から市長部局(企画調整部が所管)に移管することが提案されました。

なお、学校関連のスポーツ事業、事務については引き続き教育委員会が担います。

● 副市長二人制 ●

提案理由として、「圏域13自治体との事業推進、個別の取り組みについて、協議に多くの時間を要すること、行政デジタル化について、専門的な知見を持っている人材が必要であり、また、中核市60市のうち本市と越谷市を除いた58市が二人以上の複数人制を導入しているから。」としています。

今後人選検討に入りますが、「中央省庁、民間、団体から広く人選する。」と答弁しました。



スポーツ行政の移管

これまでも、「移管し一体的な取組をすべき。」との議論がありましたが、健康寿命の延伸、マラソンを初めとするイベントとの協調、融合した観光戦略を図るため、

市役所機構を変更!

「山形市」を取り
巻く大きな変化

2019年4月1日の中核市移行、6市6町(現在は尾花沢市、大石田町参画による7

変更することになったものです。

コロナ対策ほか

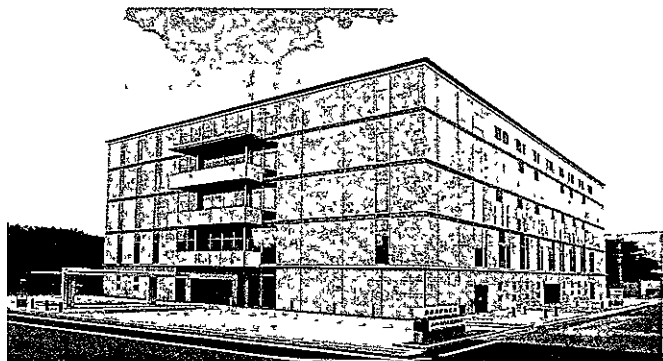
補正予算可決!

主要内容(抜粋)



休日夜間診療所に
補助金(28百万円)

昨年度11月末までの受診者に比べ、今年度同期比は半分以下で新型コロナウイルス感染を心配して受診を控えているものと推測されます。



安心の拠点 休日夜間診療所

また、今後季節性インフルエンザとの同時流行も大変懸念されています。

このことから、受診者減少による減収補填をするとともに、常駐医師や看護師を確保するため補助するものです。

休日夜間診療所では、発熱があった場合でも、導線を分け受け入れしますので、事前にその旨を連絡してください。



福祉灯油購入費等
購入事業(7千万円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに生活環境が厳しさを増している低所得世帯への経済的支援を行うため、灯油購入費等を給付するものです。

支給対象者は令和2年12月1日における住民基本台帳登録者(外国の方も含む)で、市民税非課税世帯のうち、高齢者世帯、障が

い者世帯、ひとり親世帯のいずれかに該当する世帯。

給付額は一世帯あたり5千円。



可動式ベビーケアルーム

設置費(3百万円)

市役所一階、保育育成課とATMコーナーの間に、おむつ替えや授乳などができる、「可動式ベビーケアルーム」が2月中旬に設置されます。

上部がメッシュ構造になっており、空気清浄機付きできれいな空気の中、ゆっくり赤ちゃんのお世話ができます。

利用する際の手続きは不要ですが、利用後は、時節柄消毒作業を行うため、保育育成課にお声がけください。



設置される保育育成課前

公園水飲み場 ~~トイレ水栓~~

蛇口をレバー式に交換へ(8百万円)
新型コロナウイルス感染症防止対策として、市内都市公園の水飲み場及びトイレの蛇口830箇所を回転式からレバー式に交換します。

このほか、令和3年度に予定していた5つの中学校トイレ改修も前倒しで実施していきます。(2億2千万円)



災害復旧関連補正(7月豪雨関連)
2億9百万円

7月豪雨で被災した二位田地区ほか二箇所の頭首工、排水樋管など6千万円、82箇所の農業用施設復旧費49百万円、前明石須刈田線本沢橋の橋脚部と橋桁が分離し危険な状況であることから災害査定を受け、早急に復旧工事を実施する経費1億円。

生かす環境 重要計画策定中!!

● 第四次山形市環境基本計画

地球規模での気候変動が問題提起され二酸化炭素の排出抑制、森林保全が言われて久しくなります。



森林保全も身近な課題に

本市も10月19日に「ゼロカーボンシティ」を表明し2050年に温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするため、策定中の第四次山形市環境基本計画に盛り込んでいくこととなりました。

排出実質ゼロは、二酸化炭素などの温室効果ガスと森林等の吸収源による除去量との均衡を図るもので、市民生活と環境との関わりが重要になってきます。

10年間の第四次基本計画は、これらを見据え具体的な数値目標を定めたものになります。

● 立地適正化計画

この計画は、都市計画法を中心とした土地利用規制に加え、医療、福祉、商業などの都市機能と住宅などの居住機能を一定の区域内に緩やかに誘導するとともに、これらの区域を利便性の高い公共交通ネットワークで連携することによって持続可能な都市構造を実現していくこととするものです。

平成29年に策定した都市計画マスタープランの一部となります。

計画では、中心拠点を都市再生特別措置法に基づく法定の都市機能誘導区域に、馬見ヶ崎・嶋、山大医学部周辺、吉原三地区を法定外の副次拠点として位置づけ核となる施設、より良い居住空間の創設と誘導、各拠点地区との公共交通ネットワークの整備などの施策を展開していくことになります。



中心市街地活性化と拠点化

千歳コミュニティーセンター
拡幅駐車場供用
令和4年秋（予定）に！

地権者の方のご理解、ご協力をいただき拡幅駐車場整備が進んでいます。令和3年度に土地造成を行い、地盤が落ち着いた後、令和4年度に整備工事を実施し、文化祭などが開催される、同年秋までには完成供用予定です。

面積は92.5平方メートル、増加台数は2.5台でこれまでの40台と合わせ一層の利活用が期待されます。

空調設備1.4百万円も補正し前倒し発注になることとなつていきます。



より利便性が向上

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 1月 9日 支出					
調査旅費	<input type="checkbox"/>							
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	6	3,	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>							
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所					
資料購入費	<input type="checkbox"/>							
人件費	<input type="checkbox"/>							
事務所費	<input type="checkbox"/>							
通信・交通費	<input type="checkbox"/>							

支出内容

市政報告書ふれあい紙 ^{NO.126} 2,500部印刷代 63,000円
 ニツ折 1,000部 × @24 (税込み) = 24,000円
 三ツ折 1,500部 × @26 (税込み) = 39,000円

領収証

NO. _____

令和 3年 1月 9日

遠藤吉久 様

合計金額 ¥63,000.-

内消費税額 ¥ 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

但し ふれあい126号 2冊1,000部
 3冊1,500部

入金内訳

現金 _____

小切手 _____

相殺 _____



合資会社 大仁堂印刷所
 〒990-0047 山形市旅籠町2丁目1033
 Tel. (023)622-2511 Fax. 624-2482

ふれあい

第 126 号
2020 (令和2) 年
12 月定例市議会
報 告 号

【発行責任者】 山形市旅籠町 2-3-25 山形市議会内 【市民連合山形市議団】 TEL 641-1212 内線 721

「令和三年」、皆様方にとって

健やかな、安寧の年であることを！



山形市議会議員

えんどう 吉久

市民の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと存じます。

昨年は、大変お世話様になりました。皆様方のご協力のおかげで、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年一年間を振り返ってみますと、年初に中国の大都市から伝播したウイルスが、あつという間に世界に広がり、人々の日常生活や経済活動、文化、芸術分野まで影響するものになったことに尽きま

す。

これまで当然のことのように行ってきた、集い、語り合い、ふれあうことができなくなる、新生活様式が求められる、これまで考えられなかった夏でさえも「マスク」の着用が義務づけられました。

各種イベント、地域行事、学校の修学旅行、運動会の果てまでが自粛、中止を余儀なくされ、世界のトップアスリートが集う、オリンピック、パラリンピックも今年に延期されて

います。

一言で申し上げますれば、大変な苛酷な一年だったと言えます。

しかし、このコロナ禍から、今後に活かしていかなければならぬ多くのことも学んだと言えます。

社会がいかに多くの人々が関わって成り立っているか、経済循環のシステムが断ち切られたときのバックアップシステム。公衆衛生体制、社会保障の脆弱性や国の施策が市民の皆様さんお一人おひとり

に行き渡るまでの時間、手立てなど、日常生活からは考えられない問題点や課題が浮き彫りになりました。

地方におけるこの度の一連のコロナ対策は、全て国からの「地方創生臨時交付金」を財源としています。財源が初めから地方にあれば、その分だけスピードが増すこととなります。

ワクチンが今年の前半には広く市民の皆さんにも行き渡る可能性があります。長く暗いトンネルの出口が見えてきた感があります。叡智を結集し、今しばらく頑張つて参りましょう。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

副市長が二人に!! 中核市移行とデジタル化へ対応

コロナ感染者に「誹謗中傷しない決議」を可決!

福祉灯油券配付などコロナ対策費補正予算可決!

新型コロナウイルス対策、七月の集中豪雨による復旧費などの補正予算、副市長を二人制にする条例、スポーツ行政を市長部局に移す部設置条例、連携中核都市圏に新たに尾花沢市、大石田町が加わる協議案件などについて審査する十二月定例議会は、十一月二十六日から十二月十一日までの三日間開催され、可動式ベビーケアルーム設置事業費三百万円、水飲み場、トイレ蛇口回収事業費一、二五〇万円、山形市休日夜間診療所人材確保補助金二八百万円、福祉灯油券配付事業費七千万円、高齢者・妊婦・一人親世帯応援金事業費九百万円、災害復旧費二億九百万円、固定資産評価委員に引き続き「平吹和之氏」の任命についてそれぞれ可決、同意しました。

また、議会総意として新型コロナウイルス感染者に対する「誹謗中傷をなくし克服する決議」を決議し可決し閉会しました。

市民連合山形市議団（佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛）は、コロナ対策としてこれまで二七回（二月十一日現在）の独自対策会議を行うとともに、七月の豪雨被害についても引き続き、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行ってきました。以下、今議会での主な特徴的な内容について、ご報告いたします。

「市役所機構・体制」を変更へ!!

副市長二人制・スポーツ行政所管換え

「山形市」を取り巻く大きな変化

二〇一九年四月一日の中核市移行、六市六町（現在は尾花沢市、大石田町参画による七市七町）による「連携中核都市圏」構築によって、権限が飛躍的に増

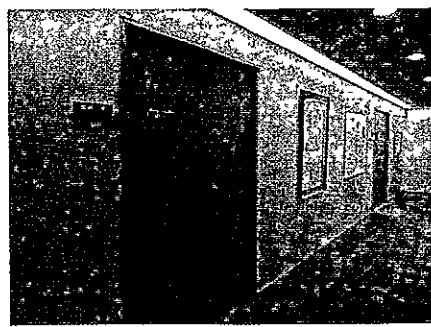
えるとともに、これまでの山形市単体による行政運営に加え、中心市として連携中核都市圏の各種事業、取り組みも一層増えることとなりました。

また、市が提唱、推進する「健康医療推進都市」の実現、発展計画二〇二五の

具体的推進、スクスク事業とのタイアップなど、スポーツ事業との一体的な取り組みを図り、より効果が高まる必要性が求められています。

このため、副市長を二人にし、スポーツの所管を教育委員会から市長部局（企

画調整部が所管）に移管することが提案されました。なお、学校関連のスポーツ事業、事務については引き続き教育委員会が所管します。



市役所 3階の副市長室

副市長三人制

提案理由として、「圏域一三自治体との事業推進、個別の取り組みについて、協議に多くの時間を要すること、行政デジタル化について、専門的な知見を持っている人材が必要であり、また、中核市六〇市のうち本市と越谷市を除いた五八市が二人以上の複数人制を導入しているから。」としています。

今後人選検討に入りますが、「中央省庁、民間、団体から広く人選する。」と答弁しています。

スポーツ行政の移管

これまでも、「移管し一体的な取組をすべき。」との議論がありました。健康寿命の延伸、マラソンを初めとするイベントとの協調、融合した観光戦略を図るため、変更としました。



新型コロナウイルス 対策の補正予算(抜粋)!



休日夜間診療所に
補助金
(二八百万円)

昨年度一二月末までの受診者に比べ、今年度同期比は半分以下で新型コロナウイルス感染を心配して受診を控えているものと推測されます。

また、今後季節性インフルエンザとの同時流行も大変懸念されています。

このことから、受診者減少による減収補填をするとともに、常駐医師や看護師を確保するため補助するものです。

休日夜間診療所では、発熱があつた場合でも、導線を分け受け入れします。で、事前にその旨を連絡してください。



休日夜間診療所

福祉灯油購入費等
購入事業
(七千万円)

新型コロナウイルス感染症の影響により、さらに生活環境が厳しさを増している低所得世帯への経済的支

援を行うため、灯油購入費等を給付するものです。

支給対象者は令和二年一月一日における住民基本台帳登録者(外国の方も含む)で、市民税非課税世帯のうち、高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯のいずれかに該当する世帯。給付額は一世帯あたり五千円。

可動式ベビーカールーム
設置費
(三百万円)

市役所一階、保育育成課とATMコーナーの間に、おむつ替えや授乳などができる、「可動式ベビーカールーム」が二月中旬に設置されます。

上部がメッシュ構造になつており、空気清浄機付きできれいな空気の中、ゆつくり赤ちゃんのお世話ができます。

利用する際の手続きは不要ですが、利用後は、時節柄消毒作業を行うため、保育育成課にお声がけください。



設置される保育育成課前

公園水飲み場・トイレ
水栓蛇口をレバー式に
交換へ
(八百万円)

新型コロナウイルス感染症防止対策として、市内都市公園の水飲み場及びトイレの蛇口八三〇箇所を回転式からレバー式に交換します。

このほか、令和三年度に予定していた五つの中学校トイレ改修も前倒しで実施していきます。(二億二千万円)

10年後の市民生活に直結し 「山形」を次代に引き継ぐ

重要・大型

「三計画」が進行中!!

○第四次山形市環境基本計画

(山形市ゼロカーボン表明)

○山形市「立地適正化計画」

(都市計画マスタープラン連動)

○景観重点地区の指定

(山形市景観条例に基づく)

第四次山形市

環境基本計画

地球規模での気候変動が問題提起され二酸化炭素の排出抑制、森林保全が言われて久しくなります。

本市も一〇月一九日に「ゼロカーボンシティ」を表明し二〇五〇年に温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする



森林保全も身近な課題に

るため、策定中の第四次山形市環境基本計画に盛り込んでいくこととなります

た。

排出実質

ゼロは、二

酸化炭素な

どの温室効

果ガスと森林等の吸収源に

よる除去量との均衡を図る

立地適正化計画

この計画は、都市計画法を中心とした土地利用規制に加え、医療、福祉、商業などの都市機能と住宅などの居住機能を一定の区域内に緩やかに誘導するとともに、これらの区域を

利便性の高い公共交通ネットワークで連携することによって持続可能な都市構造を実現していくこととするものです。

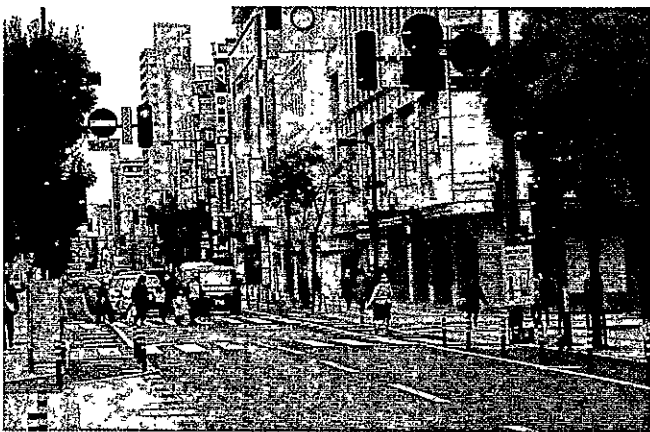
平成二九年に策定した都市計画マスタープランの一部となります。

計画では、中心拠点を都市再生特別措置法に基づく、法定の都市機能誘導区域

た。市民生活と環境との関わりが必要になってきます。

もので、市民生活と環境との関わりが必要になってきます。

一〇年間の第四次基本計画は、これらを見据え具体的な数値目標を定めたものになります。



中心市街地と副次拠点の連携

五年毎の見直しを図りながら、二〇三五年までの計画年次とします。

に、馬見ヶ崎・嶋、山大医学部周辺、吉原三地区を副次拠点として位置づけ施策を展開していくこととなります。

特に優れた景観形成に向け、重点的かつ計画的に整備、保全していく地区について山形市景観条例に基づき、より積極的な景観形成を進める制度です。

指定されると、地区独自の ☆景観形成基準の設定 ☆地区独自の屋外広告物の設置基準の設定 ☆建築物、工作物の規模を設定、そして☆修景事業に対して補助制度が受けられるようになります。

より良い景観を後世に残す手立てとなります。

指定は審議会の議論を経て三月をめざします。

景観重点地区に
山寺、蔵王温泉
地区を指定